

**P5QPL-AM**

**Motherboard**



J4548

初版第 1 刷  
2009年9月

**Copyright © 2009 ASUSTeK COMPUTER INC. All Rights Reserved.**

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全ての内容は、ASUSTeK Computer, Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索システムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

以下の場合、保証やサービスを受けることができません。

- (1)ASUSが明記した方法以外で、修理、改造、交換した場合。
- (2)製品のシリアル番号が読むことができない状態である場合。

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証もいたしません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、予告なしに内容に変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する正確な内容について、ASUSは責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

# もくじ

もくじ .....	iii
ご注意 .....	vi
安全上のご注意 .....	vii
このマニュアルについて .....	vii
P5QPL-AM 仕様一覧 .....	ix

## Chapter 1 製品の概要

1.1	ようこそ! .....	1-1
1.2	パッケージの内容 .....	1-1
1.3	独自機能 .....	1-1
1.3.1	製品の特長 .....	1-1
1.3.2	ASUSの独自機能 .....	1-2
1.4	始める前に .....	1-4
1.5	マザーボードの概要 .....	1-5
1.5.1	設置方向 .....	1-5
1.5.2	ネジ穴 .....	1-5
1.5.3	マザーボードのレイアウト .....	1-6
1.5.4	レイアウトの内容 .....	1-6
1.6	CPU .....	1-7
1.6.1	CPUを取り付ける .....	1-7
1.6.2	CPUにヒートシンクとファンを取り付ける .....	1-10
1.6.3	CPUからヒートシンクとファンを取り外す .....	1-11
1.7	システムメモリ .....	1-12
1.7.1	概要 .....	1-12
1.7.2	メモリ構成 .....	1-13
1.7.3	メモリを取り付ける .....	1-18
1.7.4	メモリを取り外す .....	1-18
1.8	拡張スロット .....	1-19
1.8.1	拡張カードを取り付ける .....	1-19
1.8.2	拡張カードを設定する .....	1-19
1.8.3	PCI スロット .....	1-19
1.8.4	PCI Express x1 スロット .....	1-19
1.8.5	PCI Express x16 スロット .....	1-19
1.9	ジャンパ .....	1-20

## もくじ

<b>1.10</b>	<b>コネクタ.....</b>	<b>1-22</b>
1.10.1	バックパネルコネクタ.....	1-22
1.10.2	内部コネクタ .....	1-23
<b>1.11</b>	<b>ソフトウェア .....</b>	<b>1-29</b>
1.11.1	OSをインストールする .....	1-29
1.11.2	サポートDVD情報.....	1-29

## Chapter 2 BIOS情報

<b>2.1</b>	<b>BIOS 管理更新 .....</b>	<b>2-1</b>
2.1.1	ASUS Update utility.....	2-1
2.1.2	ASUS EZ Flash 2.....	2-2
2.1.3	ASUS CrashFree BIOS 3 .....	2-3
<b>2.2</b>	<b>BIOS設定プログラム.....</b>	<b>2-4</b>
2.2.1	BIOSメニュー画面.....	2-5
2.2.2	メニューバー .....	2-5
2.2.3	ナビゲーションキー .....	2-6
2.2.4	メニュー .....	2-6
2.2.5	サブメニュー .....	2-6
2.2.6	構成フィールド.....	2-6
2.2.7	ポップアップウィンドウ .....	2-6
2.2.8	スクロールバー.....	2-6
2.2.9	ヘルプ .....	2-6
<b>2.3</b>	<b>メニューバー .....</b>	<b>2-7</b>
2.3.1	System Time [xx:xx:xx].....	2-7
2.3.2	System Date [Day xx/xx/xxxx] .....	2-7
2.3.3	Primary IDE Master/Slave、SATA1~4 .....	2-7
2.3.4	記憶装置の設定 .....	2-8
2.3.5	システム情報.....	2-9
<b>2.4</b>	<b>拡張メニュー .....</b>	<b>2-9</b>
2.4.1	JumperFree Configuration .....	2-9
2.4.2	CPUの設定 .....	2-11
2.4.3	チップセット.....	2-12
2.4.4	オンボードデバイス設定構成.....	2-13
2.4.5	USB設定 .....	2-13
2.4.6	PCI PnP.....	2-14

## もくじ

<b>2.5</b>	<b>電源メニュー .....</b>	<b>2-15</b>
2.5.1	Suspend Mode [Auto].....	2-15
2.5.2	ACPI 2.0 Support [Disabled] .....	2-15
2.5.3	ACPI APIC Support [Enabled].....	2-15
2.5.4	APMの設定 .....	2-15
2.5.5	ハードウェアモニタ .....	2-16
<b>2.6</b>	<b>ブートメニュー .....</b>	<b>2-17</b>
2.6.1	ブートデバイスの優先順位 .....	2-17
2.6.2	起動設定 .....	2-17
2.6.3	セキュリティ .....	2-18
<b>2.7</b>	<b>ツールメニュー .....</b>	<b>2-19</b>
2.7.1	ASUS EZ Flash 2 .....	2-19
2.7.2	AI NET 2.....	2-19
<b>2.8</b>	<b>終了メニュー .....</b>	<b>2-20</b>

## ご注意

### ASUS REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorisation, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we published the chemical substances in our products at ASUS REACH website at <http://green.asus.com/english/REACH.htm>.

### Federal Communications Commission Statement (原文)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference, and
- This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with manufacturer's instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures□

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.



The use of shielded cables for connection of the monitor to the graphics card is required to assure compliance with FCC regulations. Changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment.

### Canadian Department of Communications Statement (原文)

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.



**DO NOT** throw the motherboard in municipal waste. This product has been designed to enable proper reuse of parts and recycling. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the product (electrical and electronic equipment) should not be placed in municipal waste. Check local regulations for disposal of electronic products.



**DO NOT** throw the mercury-containing button cell battery in municipal waste. This symbol of the crossed out wheeled bin indicates that the battery should not be placed in municipal waste.

# 安全上のご注意

## 電気の取り扱い

- ・ 作業を行う場合は、感電防止のため、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 本製品に周辺機器を接続する場合は、本製品および周辺機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。可能ならば、関係するすべての機器の電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 本製品にケーブルを接続する場合は、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- ・ 電源延長コードや特殊なアダプタを用いる場合は専門家に相談してください。これらは、回路のショート等の原因になる場合があります。
- ・ 正しい電圧でご使用ください。ご使用になる地域の出力電力がわからない場合は、お近くの電力会社にお尋ねください。
- ・ 電源装置の修理は販売代理店などに依頼してください。

## 操作上の注意

- ・ 作業を行う前に、本製品に付属のマニュアルを全て熟読してください。
- ・ 電源を入れる前に、ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また電源コードに損傷がないことを確認してください。
- ・ マザーボード上にクリップやネジなどの金属を落とさないようにしてください。回路のショート等の原因になります。
- ・ 埃・湿気・高温・低温を避けてください。湿気のある場所で本製品を使用しないでください。
- ・ 本製品は安定した場所に設置してください。
- ・ 本製品を修理する場合は、販売代理店などに依頼してください。

## このマニュアルについて

このマニュアルには、マザーボードの取り付けや構築の際に必要な情報が記してあります。

## マニュアルの概要

本章は以下の章から構成されています。

- ・ **Chapter 1: 製品の概要**  
マザーボードの機能とサポートする新機能についての説明。
- ・ **Chapter 2: BIOSセットアップ**  
セットアップメニューでのシステム設定の変更方法とBIOSパラメータの詳細。

## 詳細情報

本書に記載できなかった最新の情報は以下で入手することができます。また、BIOSや添付ソフトウェアの最新版があります。必要に応じてご利用ください。

### 1. ASUS Webサイト (<http://www.asus.co.jp/>)

各国や地域に対応したサイトを設け、ASUSのハードウェア・ソフトウェア製品に関する最新情報が満載です。

### 2. 追加ドキュメント

パッケージ内容によっては、追加のドキュメントが同梱されている場合があります。注意事項や購入店・販売店などが追加した最新情報などです。これらは、本書がサポートする範囲には含まれていません。

## このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱い頂くために以下の表記を参考にしてください。



危険/警告: 本製品を取り扱う上で、人体への危険を避けるための情報です。



注意: 本製品を取り扱う上で、コンポーネントへの損害を避けるための情報です。



重要: 本製品を取り扱う上で、必要な指示です。



注記: 本製品を取り扱う上でのヒントと追加情報です。

## 表記

**Bold text**

選択するメニューや項目を表示

*Italics*

文字やフレーズを強調する時に使います。

<Key>

<> で囲った文字は、キーボードのキーです。

例: <Enter>→Enter もしくは リターンキーを押してください。

<Key1> + <Key2> + <Key3>

一度に2つ以上のキーを押す必要がある場合は(+)を使って示しています。

例: <Ctrl+Alt+D>



## P5QPL-AM 仕様一覧

CPU	LGA775 ソケット: Intel® Core™2 Quad / Core™2 Extreme / Core™2 Duo / Pentium® dual-core / Celeron® dual-core / Celeron® プロセッサ対応 Intel® 45nm multi-core CPU対応 詳細につきまして、ASUSウェブサイト: <a href="http://www.asus.com">www.asus.com</a> (Intel® CPU サポートリスト) をご参照ください。
チップセット	ノースブリッジ: Intel® G41 サウスブリッジ: Intel® ICH7
システムバス	1333/1066/800 MHz
メモリ	デュアルチャンネルメモリアーキテクチャ <ul style="list-style-type: none"> <li>- 240pin DIMM ソケット ×2 unbuffered non-ECC 1066 (オーバークロック) /800/667 MHz DDR2メモリモジュール</li> <li>- 最大8GB</li> </ul> <p>* QVL (メモリ推奨ベンダーリスト) については <a href="http://www.asus.com">www.asus.com</a> 又はユーザーマニュアルをご参照ください。</p> <p><b>** Windows 32bit OSでは、4 GB 以上のシステムメモリを取り付けても、OSが実際に使用できるメモリは約 3 GBまたはそれ未満となります。Windows 32bit OSをご使用の場合は、3 GB以下のシステムメモリ構成にすることをお勧めします。</b></p>
グラフィックス	Intel® Graphics Media Accelerator (Intel® GMA X4500) 搭載 D-Sub 最大解像度 2048 x 1536 x 32 Bpp対応 Horizontal: 115KHz, Vertical: 75Hz
拡張スロット	PCI Express x16 スロット ×1 PCI Express x1 スロット ×1 PCI スロット ×2
記憶装置	サウスブリッジ Intel® ICH7 対応: <ul style="list-style-type: none"> <li>- UltraDMA 100 ハードディスクドライブ ×1</li> <li>- Serial ATA 3Gb/s ポート ×4</li> </ul>
LAN	Atheros L1E Gigabit LAN
オーディオ	ALC887 HDオーディオ 6チャンネル CODEC <ul style="list-style-type: none"> <li>- Jack-detect and Multi-streamingをサポート</li> <li>- S/PDIF出力インターフェイス</li> </ul>
USB	USB 2.0/1.1 ポート ×最大8 (ミッドボード: 4 ポート、バックパネル: 4ポート)
ASUS だけの オーバークロック機能	<b>SFS (Stepless Frequency Selection) :</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- FSB 調整: 1 MHz 刻みで 200 MHz ~ 800 MHz</li> </ul> <b>オーバークロック保護機能:</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ASUS C.P.R. (CPU Parameter Recall)</li> </ul>

(次項へ)

## P5QPL-AM 仕様一覧

ASUSの独自機能	ASUS CrashFree BIOS 3 ASUS Q-Fan ASUS EZ Flash 2 ASUS MyLogo 2 AI NET 2 ASUS Turbo Key
バックパネル I/O ポート	PS/2 keyboard ポート×1 PS/2 mouse ポート×1 COMポート×1 LPTポート×1 VGAポート×1 LAN(RJ-45)ポート×1 USB 2.0/1.1ポート ×4 6チャンネル オーディオ I/O ポート
内部 I/O コネクタ	2 x USB 2.0 コネクタサポート 追加 4 USB 2.0 ポート IDE コネクタ×1 Serial ATA コネクタ×4 HDフロントパネルオーディオコネクタ×1 システムパネルコネクタ×1 内部スピーカーコネクタ×1 CD オーディオ入力コネクタ×1 S/PDIF 出力コネクタ×1 CPUファンコネクタ×1 24ピン EATX 電源コネクタ×1 4ピン ATX 12V 電源コネクタ×1
BIOS機能	8Mb Flash ROM、AMI BIOS、PnP、DMI v2.0、WfM 2.0、ACPI v2.0a、SM BIOS v2.5
サポートDVD	各ドライバ ASUS PC Probe II ASUS LiveUpdate Utility アンチウイルス ソフトウェア (OEM 版)
アクセサリ	Serial ATAケーブル×2 UltraDMA 133/100/66 ケーブル×1 I/O シールド×1 ユーザーマニュアル
フォームファクタ	MicroATX フォームファクタ: 9.6" x 7.6" (24.4 cm x 19.3 cm)

\*仕様は製品改善のため、予告なく変更することがあります。

# Chapter 1

## 製品の概要

### 1.1 ようこそ!

ASUS® P5QPL-AM マザーボードをお買い上げいただき、ありがとうございます。

このマザーボードは多くの新機能と最新のテクノロジーを提供する ASUS の高品質マザーボードです。

マザーボードとハードウェアデバイスの取り付けを始める前に、パッケージの中にリストに掲載されている部品が揃っていることを確認してください。

### 1.2 パッケージの内容

マザーボードパッケージに以下のものが揃っていることを確認してください。

マザーボード	ASUS P5QPL-AM マザーボード
ケーブル	Serial ATA ケーブル ×2 Ultra DMA 133/100/66 ケーブル ×1
アクセサリ	I/O shield×1
アプリケーション DVD	ASUS マザーボード サポート DVD
ドキュメンテーション	ユーザーマニュアル



付属品が足りないときや破損しているときは、販売店様にご連絡ください。

### 1.3 独自機能

#### 1.3.1 製品の特長



#### Intel® Core™2 Extreme / Core™2 Quad / Core™2 Duo CPU サポート

このマザーボードは Intel® LGA775 Core™2 Extreme / Core™2 Quad / Core™2 Duo プロセッサをサポートします。1333/ 1066/ 800 MHz FSB でマルチタスク、マルチメディア、ゲーマーに最適です。Intel® 45nm CPU もサポートします。



Intel® G41 Express チップセットは、デュアルチャンネル DDR2 1066 (オーバークロック)/800/667, MHz メモリアーキテクチャ、1333/1066/800 MHz FSB (フロント サイド バス)、PCIe 1.1、マルチコア CPUをサポートするために設計された最新のチップセットです。次世代グラフィックコア、Intel® Graphics Media Accelerator X4500搭載のBlu-rayディスクムービーを含む、フル1080p HDビデオ再生機能でデジタルホームエンターテイメントを提供します。最適化された3Dグラフィックパフォーマンス性能を提供し、Microsoft DirectX10をサポートします。Shader Model 4.0 と OpenGL 2.1 を搭載。特に Intel® Fast メモリアクセステクノロジーは既存のメモリの使用可能帯域を最大限に利用し、アクセスの待ち時間を短くします。



## 6チャンネルHDオーディオ

オンボード6チャンネルHDオーディオ (ALC887High Definition Audio) CODEC は、ハイクオリティオーディオを提供。オーディオ I/O ジャックに接続された周辺機器のタイプを自動的に検出します。ALC887は、Windows® Vista Premium OSをサポートします。



## Gigabit LAN ソリューション

オンボード LAN コントローラは 上位の 統合型 Gb LAN コントローラで、ACPI マネジメント機能により、効率的な電源管理を行い、高度なシステム操作が可能です。



## Serial ATA 3Gb/s

新型 SATA 3Gb/s ストレージ規格をベースとする次世代 SATA ハードドライブをサポートしています。バス帯域幅を拡張し、倍にすることで、高速でのデータ保存、読み込みを可能にします。

### 1.3.2

## ASUSの独自機能



### ASUS MyLogo2™

この機能を使用すると、お好みの写真を256色の色合いでブートロゴにすることができます。カラフルで生き生きとしたイメージでスクリーンに表示することができます。



### ASUS CrashFree BIOS 3

破損したBIOS データを 最新のBIOSファイルを含むUSB フラッシュメモリ、または付属のサポートDVDから自動的に復旧することができます。



### ASUS EZ Flash 2

OSベースのユーティリティを使用することなく、BIOSを更新します。



### ASUS Q-Fan

ASUS Q-Fan テクノロジーは、効果的に CPU ファンとケースファンのスピードをシステムの負荷に応じて調節し、静音低温環境を実現します。



### ASUS AI NET2

AI NET2 は、システム起動後、瞬時にケーブル接続状況、または障害を報告します。100メートルまで、1メートルごとの精度で検出し報告します。



### Turbo Key

ASUS Turbo Key は、PCの電源ボタンをオーバークロックボタンとして使用できる機能です。簡単なセットアップの後は、ボタンワンタッチでゲーム作業を中断せずにパフォーマンスを上げることができます。



### C.P.R. (CPU Parameter Recall)

オーバークロック時にシステムがハングした場合、BIOSを初期設定値に自動再設定します。オーバークロックが原因でハングした場合は、シャットダウンし、再起動するだけです。ケースを開けてRTCデータをクリアする必要はありません。



### Green ASUS

このマザーボードとパッケージは、欧州連合 (EU) のRoHS指令 (電気電子機器の特定有害物質使用規制) の基準を充たしています。これは環境に優しくリサイクル可能な製品/パッケージを提供するASUSの企業理念と合致するものです。

## 1.4 始める前に

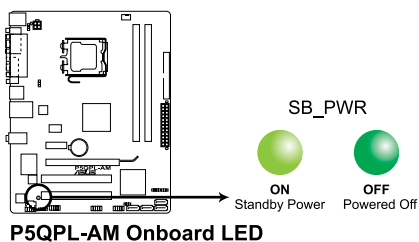
マザーボードのパーツの取り付けや設定変更の前は、次の事項に注意してください。



- 各パーツを取り扱う前に、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 静電気による損傷を防ぐために、各パーツを取り扱う前に、静電気除去装置に触れるなど、静電気対策をしてください。
- ICに触れないように、各パーツは両手で端を持つようにしてください。
- 各パーツを取り外すときは、必ず静電気防止パッドの上に置るか、コンポーネントに付属する袋に入れてください。
- パーツの取り付け、取り外しを行う前に、ATX電源ユニットのスイッチがOFFの位置にあるか、電源コードが電源から抜かれていることを確認してください。電力が供給された状態での作業は、感電、故障の原因となります。

### オンボードLED

スタンバイLEDが搭載されており、電力が供給されている間は緑のLEDが点灯します。マザーボードに各パーツを取り付けたり、取り外したりする際は、システムをOFFにし、電源ケーブルを抜いてください。下のイラストは、オンボードLEDの場所を示しています。



## 1.5 マザーボードの概要

マザーボードが正しい向きでケースに取り付けられているかを確認してください。下の図のように外部ポートをケースの背面部分に合わせます。



マザーボードの取り付け、取り外しの際には、必ず電源コードを抜いてから行ってください。怪我またはマザーボードの破損の原因となります。

### 1.5.1 設置方向

マザーボードを取り付ける際、ケースに正しい方向で取り付けして下さい。下の絵のように、外付けポートの端がケースの後方になるように設置してください。

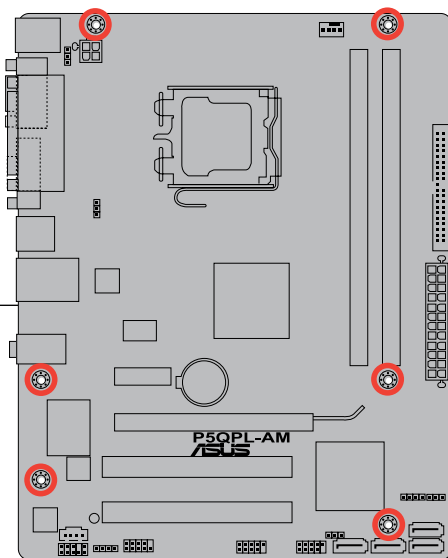
### 1.5.2 ネジ穴

ネジ穴は6カ所あります。ネジ穴の位置を追わせてマザーボードをケースに固定します。

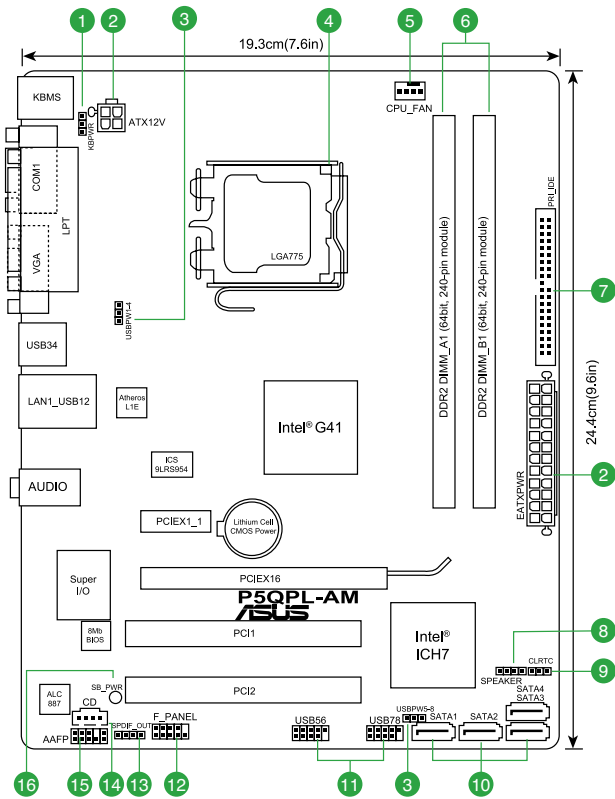


ネジをきつく締めすぎないでください。マザーボードの破損の原因となります。

この面をケースの背面に  
合わせます。



### 1.5.3 マザーボードのレイアウト



### 1.5.4 レイアウトの内容

コネクタ/ジャンプスロット/LED	ページ	コネクタ/ジャンプスロット/LED	ページ
1. キーボード電源 (3ピン KBPWR)	1-21	9. Clear RTC RAM (3ピン CLRTC)	1-20
2. ATX 電源コネクタ (24ピン EATXPWR, 4ピン ATX12V)	1-25	10. Serial ATAコネクタ (7ピン SATA1-4)	1-23
3. USBデバイスウェイクアップ (3ピン USBPW1-4, 3ピン USBPW5-8)	1-21	11. USBコネクタ (10-1 ピン USB56 と USB78)	1-27
4. LGA775CPUソケット	1-7	12. システムパネルコネクタ (10-1 ピン F_ パネル)	1-28
5. CPUファンコネクタ (4ピン CPU_FAN)	1-26	13. Digitalオーディオコネクタ (4-1 ピン SPDIF出力)	1-27
6. DDR2 DIMM スロット	1-12	14. 光学ドライブ オーディオ コネクタ (4ピン CD)	1-25
7. IDEコネクタ (40ピン PRI_IDE)	1-24	15. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1 ピン AAFF)	1-26
8. スピーカーコネクタ (4ピン SPEAKER)	1-23	16. スタンバイ電源 LED (SB_PWR)	1-4



## 1.6 CPU

本製品には Intel® Core™2 Extreme / Core™2 Quad / Core™2 Duo / Pentium® dual-core / Celeron® dual-core / Celeron® プロセッサ用に設計されたLGA775ソケットが搭載されています。



マザーボードを設置する際には、必ず全ての電源ケーブルをコンセントから抜いてください。



- マザーボードをご購入後すぐにソケットキャップがソケットに装着されていることと、ソケットの接触部分が曲がっていないかを確認してください。ソケットキャップが装着されていない場合や、ソケットキャップ/ソケット接触部/マザーボードのコンポーネントに不足やダメージが見つかった場合は、すぐに販売店までご連絡ください。不足やダメージが出荷及び運送が原因の場合に限り、ASUSは修理費を負担いたします。
- マザーボードを取り付けた後も、ソケットキャップを保存してください。ASUSは、このソケットキャップがLGA775ソケットに装着されている場合にのみ、RMA（保証サービス）を受け付けます。
- 製品保証は、CPUやソケットキャップの間違った取り付け・取り外しや、ソケットキャップの紛失に起因する故障及び不具合には適用されません。

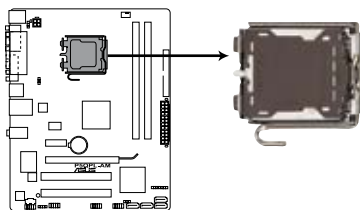


本製品は、Intel® Enhanced Intel SpeedStep® Technology (EIST) と Hyper-Threading Technology搭載の Intel® LGA775 プロセッサをサポートします。

### 1.6.1 CPUを取り付ける

手順:

- マザーボードの CPU ソケットの位置を確認します。



**P5QPL-AM CPU socket 775**

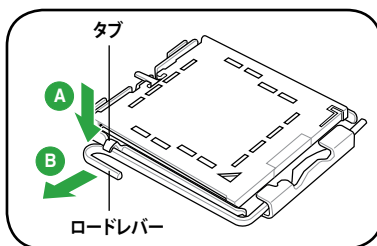


CPUを取り付ける前にCPUソケットを手前に向け、ロードレバーが向かって左側にあることを確認してください。

2. 親指でロードレバーを押し (A)、タブから外れるまで左に動かします (B)。

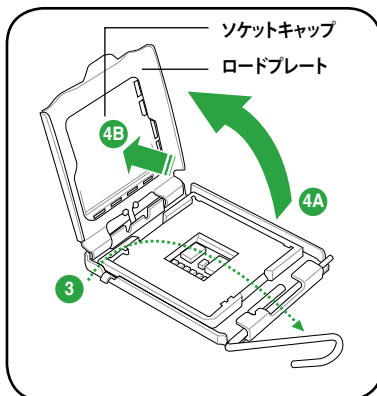


ソケットピンの損傷防止のため、ソケットキャップはCPUを取り付けるまで外さないでください。

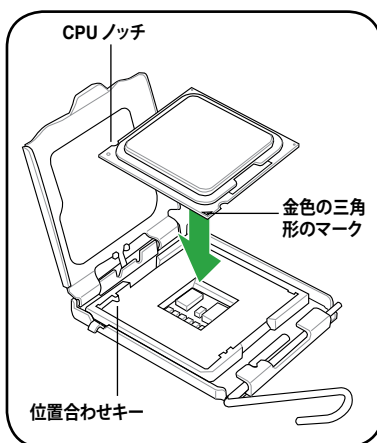


3. 矢印の方向に135° ほどロードレバーを持ち上げます。

4. ロードプレートを親指と人差し指で100° ほど持ち上げ (4A)、ロードプレートウィンドウからソケットキャップを押して取り外します (4B)。



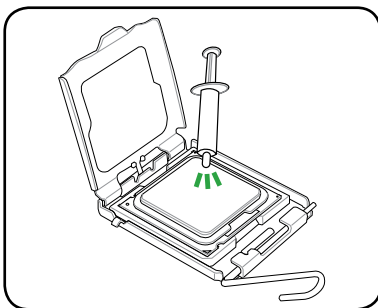
5. CPUに書かれている金色の三角形がソケットの左下隅になるようにCPUをソケットの上に載せます。このとき、ソケットの位置合わせキーは、CPUの溝にぴったり合わせる必要があります。



6. ヒートシンクを取り付けるため、サーマルグリスをCPUの表面に薄く均一に塗布します。



ヒートシンクによっては既にサーマルグリスが塗布されています。その場合はこの手順は行わず、次の手順に進んでください。

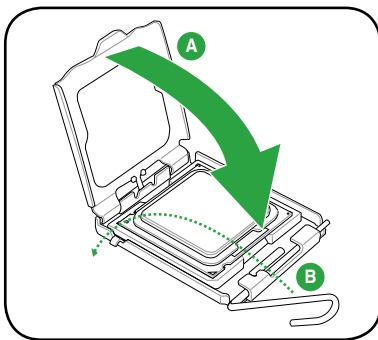


サーマルグリスは有毒物質を含んでいます。万一目に入った場合や、肌に直接触れた場合は洗浄後、すぐに医師の診断を受けてください。



サーマルグリスを塗布する際は指で直接塗布しないでください。サーマルグリスの質が落ち、冷却能力に影響が出ます。

7. ロードプレートを閉じ(A)、ロードレバー(B)がタブに収まるまで押します。



## 1.6.2 CPUにヒートシンクとファンを取り付ける

Intel® LGA775 プロセッサ用に、特別に設計されたヒートシンクとファンを組み合わせることで、効率的な冷却を行いCPU パフォーマンスを引き出します。



- ・ 箱入りの Intel® プロセッサを購入した場合、パッケージにはヒートシンクとファンが入っています。CPU のみをお求めになった場合、Intel® が認定したマルチディレクションヒートシンクとファンを必ずご使用ください。
- ・ Intel® LGA775 用のヒートシンクとファンにはプッシュピンデザインが採用されており、取り付けの際に特別な工具は必要ありません。
- ・ CPUヒートシンクとファンを別々にお買い求めになった場合は、ヒートシンクとファンを取り付ける前に、サーマルグリスがヒートシンクまたはCPUに塗布されていることを確認してください。



CPUファンとヒートシンクを取り付ける前に、ケースにマザーボードを取り付けてください。

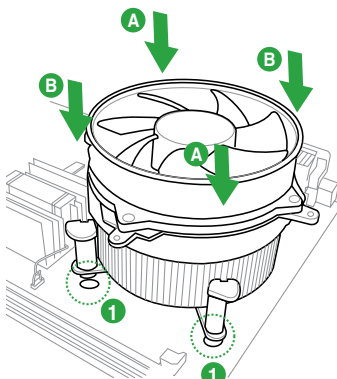
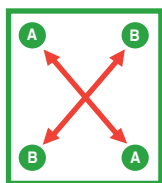
### ヒートシンクとファンの取り付け手順

1. 4つのファスナーがマザーボードの穴の位置と合っていることを確認しながら、ヒートシンクをCPUの上に置きます。



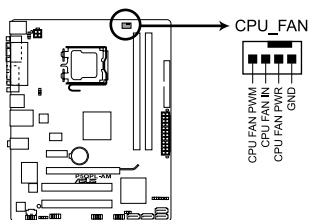
ヒートシンクとファンをCPUファンケーブルがCPUファンコネクタに一番近い位置になるように設置してください。

2. 対角線上にある2つのファスナーを同時に押し下げ、ヒートシンクとファンを正しい場所に固定します。



CPU ヒートシンクとファンのタイプは異なる場合がありますが、取り付け方法と機能は同じです。上の絵を参考にしてください。

3. CPUファンのケーブルをCPU\_FANと表示されたマザーボード上のコネクタに接続します。



**P5QPL-AM CPU fan connector**

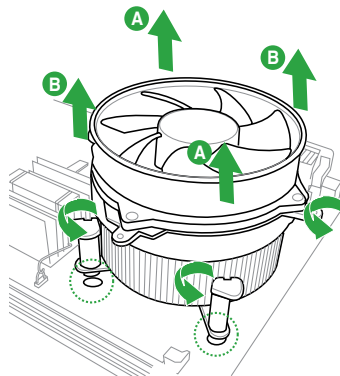
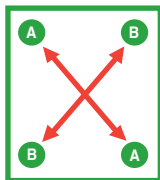


CPUファンのケーブルを必ず接続してください。接続しないと、ハードウェアのモニタリングエラーが発生することがあります。

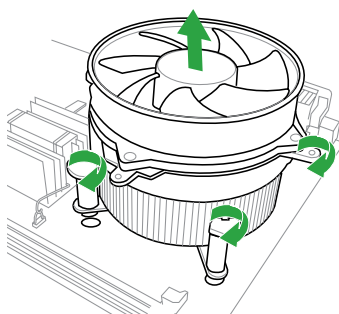
### 1.6.3 CPUからヒートシンクとファンを取り外す

手順

1. マザーボードのコネクタからCPUファンのケーブルを抜きます。
2. 各ファスナーを左へ回します。
3. 対角線上の2つのファスナーを同時に引き抜いて、マザーボードからヒートシンクとファンを外します。



4. マザーボードからヒートシンクとファンを慎重に取り外します。
5. 各ファスナーを右へ回します。

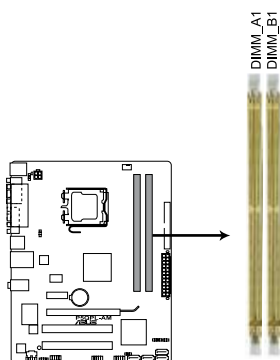


## 1.7 システムメモリ

### 1.7.1 概要

スロットの場所は下の図でご確認ください。

本マザーボードには2つのダブルデータレート 2 (DDR2) デュアルインラインメモリモジュールソケットが搭載されています。



**P5QPL-AM 240-pin DDR2 DIMM sockets**

チャンネル	ソケット
チャンネル A	DIMM_A1
チャンネル B	DIMM_B1

## 1.7.2 メモリ構成

本マザーボードは以下の構成で、512MB、1GB、2GB、と 4GB unbuffered non-ECC DDR2 メモリ スロットに取り付けることができます。



- サイズの異なるメモリを Channel A と Channel B に取り付けることができます。異なる容量のメモリをデュアルチャンネル構成で取り付けた場合、デュアルチャンネルアクセス領域はメモリ容量の合計値が小さい方のチャンネルに合わせて割り当てられ、サイズの大きなメモリの超過分に関してはシングルチャンネル用に割り当てられます。
- 同じCASレイテンシを持つメモリを取り付けてください。またメモリは同じベンダーからお求めになることをお勧めします。
- メモリの割り当てに関する制限により、Windows 32bit OSでは 4 GB以上のシステムメモリを取り付けても、OSが実際に使用できるメモリは約 3 GBまたはそれ未満となります。メモリリソースを効果的にご使用頂くため、Windows 32bit OSをご使用の際は、3GBシステム最大のメモリをご使用いただき、4 GB以上のシステムメモリ構成では、Windows 64bit OSをインストールされることをお勧めします。
  - Windows 32bit OSをご使用の際は、合計 3 GB未満のメモリを取り付けることをお勧めします。
  - 4GBもしくはそれ以上のメモリをご使用の際は、Windows 64bit OSを使用してください。
- 本マザーボードは256Mb チップ、もしくはそれ以下のメモリをサポートしません。



- Windows® XP Professional x64 and Windows® Vista x64 editionsのOSでは、本マザーボードがサポートするシステムメモリは最大8GBとなります。各スロットには最大 4GBのメモリを取り付けることができます。
- 初期設定のメモリー周波数は、メモリーモジュールから情報への標準的なアクセス方法である、Serial Presence Detect (SPD) により異なります。初期設定で、オーバークロック用のメモリーモジュールが、ベンダーが表示している値より、低い周波数で動作する物もあります。ベンダーが表示している値と同じ、またはそれ以上の値で動作するには、手動で行うメモリー周波数調節の手順をセクション「**2.4 Advanced menu**」でご確認ください。
- 古いバージョンであるDDR2-800メモリは、Intel™s On-Die-Termination (ODT) と互換性がないものもあります。その場合は自動的にダウングレードし、DDR2-667を実行します。この場合は、メモリの販売店に連絡し、ODT値を確認してください。
- チップセットの制限により、CL=4のDDR2-800は初期設定で自動的にDDR2-667にダウングレードされます。低レイテンシで実行する場合はメモリのタイミングを手動で調節してください。

# P5QPL-AM マザーボード：QVL（メモリ推奨ベンダーリスト） DDR2-667 MHz

ベンダー	ベンダー	パートNo.	CL	チップ ブランド	SS/ DS	チップNO.	メモリスポート	
							A*	B*
2G	Kingston	KVR667D2N5/2G	N/A	Micron	DS	7RE22 D9HNL	•	•
512MB	Kingston	KVR667D2N5/512	N/A	Kingston	SS	S01237650821 SBP D6408TR4CG L25USL077405PECNB	•	•
2G	Kingston	KVR667D2N5/2G	N/A	Elpida	DS	E1108ACBG-8E-E 0813A90CC	•	•
1G	Kingston	KVR667D2N5/1G	N/A	Kingston	DS	S01280420822 SOP D6408TR4C GL25USL156304PECXA	•	•
512MB	Qimonda	HYS64T64000EU-3S-B2	5	Qimonda	SS	HYB18T512B00B2F3SFSS28171	•	•
1G	Qimonda	HYS64T128020EU-3S-B2	5	Qimonda	DS	HYB18T512B00B2F3SFSS28171	•	•
1G	Corsair	VS1GB667D2	N/A	Corsair	DS	MID095D62864M8CEC	•	•
512MB	Corsair	V5S12MB667D2	N/A	Corsair	DS	MIII0052532M8CEC	•	•
1G	Corsair	XMS2-5400	4	Corsair	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	HY	HYMP512U64CP8-Y5 AB	5	Hynix	DS	HY5PS12521CFP-Y5	•	•
512MB	Kingmax	KLCC28F-A8KB5	N/A	Kingmax	SS	KKEA88B4LAUG-29DX	•	•
1G	Kingmax	KLCD48F-A8KB5	N/A	Kingmax	DS	KKEA88B4LAUG-29DX	•	•
512MB	Apacer	AU512E667C5KBGC	5	Apacer	SS	AM4B5708MJSU7E0627B	•	•
512MB	Apacer	AU512E667C5KBGC	5	Apacer	SS	AM4B5708GQJS7E06332F	•	•
512MB	Apacer	78.91G92.9K5	5	Apacer	SS	AM4B5708JQS7E0751C	•	•
1G	Apacer	78.01G90.9K5	5	Apacer	SS	AM4B5808CQJS7E0751C	•	•
1G	Apacer	AU01GE667C5KBGC	N/A	Apacer	DS	AM4B5708GQJS7E0636B	•	•
1G	Apacer	AU01GE667C5KBGC	5	Apacer	DS	AM4B5708MJSU7E0627B	•	•
2G	Apacer	78.A1G90.9K4	5	Apacer	DS	AM4B5808CQJS7E0749B	•	•
2G	Apacer	AM4B5808CQJS7E0749B	5	Apacer	DS	78.A1G90.9K4	•	•
1G	Transcend	506010-4894	5	Elpida	DS	E5108AJBG-6E-E	•	•
512MB	ADATA	M20AD05G3H3160Q1C52	N/A	ADATA	SS	AD29608A8A-3EG20813	•	•
1G	ADATA	M20AD05G314170Q1C58	N/A	ADATA	DS	AD29608A8A-3EG80814	•	•
2G	ADATA	M20AD05H3J4170I1C53	N/A	ADATA	DS	AD20908A8A-3EG 30724	•	•
512MB	PSC	AL6E8E63J-6E1	5	PSC	SS	A3R12E3JFF717B9A00	•	•
1G	PSC	AL7E8E63J-6E1	5	PSC	DS	A3R12E3JFF717B9A01	•	•
1G	PSC	AL7E8F73C-6E1	5	PSC	SS	A3R1GE3CFF734MAA0J	•	•
512MB	Nanya	NT512T64U88A1BY-3C	N/A	Nanya	SS	NT5TU64M8AE-3C	•	•
1G	Nanya	NT1GT64UH80BY-3C	5	Nanya	DS	NT5TU64M8BE-3C72155700CP	•	•
1G	GEIL	GX21GB5300SX	3	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GX22GB5300LX	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GX24GB5300LDC	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2GD2 x 1GBD	G.SKILL	F2-5400PHU2-2GBNT	5-5-5-15	G.SKILL	DS	D2 64M8CCF 0815 C7173S	•	•
4GD2 x 2GBD	G.SKILL	F2-5300CL5D-4GBMQ	5-5-5-15	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	Super Talent	T667UB1GV	5	Super Talent	DS	PG 64M8-800 0750	•	•
512MB	Twinnos	8D-A3K5MPETP	5	PSC	SS	A3R12E3GEF633ACAOY	•	•
4G	Samsung	M378T5263AZ3-CE6	N/A	Samsung	DS	K4T2G084QA-HCE6	•	•
1G	ELIXIR	M2Y1G64TU8HA2B-3C	5	ELIXIR	DS	M2TU51280AE-3C717095R28F	•	•
1G	ELIXIR	M2Y1G64TU8HBOB-3C	5	ELIXIR	DS	N2TU51280BE-3C639009W1CF	•	•
1G	Leadmax	LRMP512U64A8-Y5	N/A	Hynix	DS	HY5PS12821CFP-Y5 C 702AA	•	•
512MB	MDT	DDRII 512 PC667	4	MDT	DS	18D51201D-30726E	•	•
512MB	AENEON	AET660UD00-30DB97X	5	AENEON	SS	AET93R300B 0634	•	•
1G	AENEON	AET760UD00-30DB97X	5	AENEON	DS	AET93R300B 0639	•	•
2G	AENEON	AET860UD00-30DB08X	5	AENEON	DS	AET03F30DB 0730	•	•
512MB	TAKEMS	TMS51B264C081-665QI	5	takeMS	SS	MS18T51280-3	•	•
512MB	TAKEMS	TMS51B264C081-665AP	5	takeMS	SS	MS18T51280-3S0627D	•	•
1G	TAKEMS	TMS1GB264C081-665QI	5	takeMS	DS	MS18T51280-3	•	•
1G	TAKEMS	TMS1GB264C081-665AE	5	takeMS	DS	MS18T51280-3SEA07100	•	•
512MB	ASINT	SLX264M8-J6E	N/A	ASINT	SS	DDRRII6408-6E	•	•
1G	ASINT	SLY2128M8-J6E	N/A	ASINT	SS	DDRRII1208-6E 8115	•	•
512MB	Century	CENTURY 512MB	N/A	Nanya	SS	NT5TU64M8AE-3C	•	•
1G	Century	CENTURY 1G	N/A	Hynix	DS	HY5PS12821AFP-Y5	•	•
1G	Century	CENTURY 1G	N/A	Nanya	DS	NT5TU64M8AE-3C	•	•
1G	UMAX	D46701GP3-63BJU	N/A	UMAX	DS	U2S12D30YP-6E	•	•
2G	UMAX	D46702GP0-73BCU	5	UMAX	DS	U2S24D30TP-6E	•	•
512MB	KINGBOX	512MB 667MHz	N/A	KINGBOX	SS	EPD264082200-4	•	•



## DDR2 800 MHz

ベンダー	ベンダー	パーツNo.	CL	チップ ブランド	SS/ DS	チップNO.	メモリスポート	
							A*	B*
1G	Kingston	KHX6400D2LL/1G	N/A	Kingston	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	Kingston	KVR800D2N5/1G	N/A	Promos	DS	V59C1512B04QCF25S00619 04PECJA	•	•
512MB	Kingston	KHX6400D2LLK2/1GN	N/A	Kingston	SS	Heat-Sink Package	•	•
1G□2 x 512MB□	Kingston	KHX6400D2K2/2G	N/A	Kingston	DS	Heat-Sink Package	•	•
512MB	Kingston	KVR800D2N6/512	N/A	Elpida	SS	E5108AJBG-8E-E	•	•
1G	Kingston	KVR800D2N5/1G	N/A	Elpida	DS	E5108AJBG-8E-E	•	•
1G	Kingston	KVR800D2N6/1G	N/A	Elpida	DS	E5108AJBG-8E-E	•	•
2G	Kingston	KVR800D2N5/2G	N/A	Elpida	DS	E1108ACBG-8E-E	•	•
2G	Kingston	KHX6400D2/2G	N/A	Kingston	DS	Heat-Sink Package	•	•
4G	Kingston	KVR800D2N6/4G	N/A	Elpida	DS	E2108ABSE-8G-E	•	•
512MB	Kingston	KVR800D2N5/512	N/A	Kingston	SS	E5108AJBG-8E-E 0803A9082	•	•
512MB	Samsung	M378T6553GZS-CF7	6	Samsung	SS	K4T51083QG-HCF7	•	•
1G	Samsung	M378T2863GZS-CF7	6	Samsung	SS	K4T1G084QQ-HCF7	•	•
1G	Samsung	M378T2953GZS-CF7	6	Samsung	DS	K4T51083QG-HCF7	•	•
2G	Samsung	M378T5663GZS-CF7	6	Samsung	DS	K4T1G084QQ-HCF7	•	•
4G	Samsung	M378T5263AZS-CF7	N/A	Samsung	DS	K4T2G084QA-HCF7	•	•
1G	Qimonda	HY564T128020EU-2.5-B2	6	Qimonda	DS	HYB18T512800B2F25FSS28380	•	•
2G	Qimonda	HY564T256020EU-2.5-C2	5	Qimonda	DS	HY818T1G800C2F-2.5	•	•
1G	Corsair	XMS2-6400	4	Corsair	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	Corsair	XMS2-6400	5	Corsair	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G□2 x 1GB□	Corsair	CM2X2048-6400C5DHX	5	Corsair	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	Corsair	CM2X1024-6400	N/A	Corsair	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G□2 x 1GB□	Corsair	CM2X2048-6400C5	5	Corsair	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G□2 x 1GB□□ EPP□	Crucial	BL12864AL80A.8FE5	4	N/A	SS	Heat-Sink Package	•	•
2G□2 x 1G□	Crucial	BL12864AL80A.8FE5□EPP□	4-4-4-12	N/A	SS	Heat-Sink Package	•	•
4G□2 x 2G□	Crucial	BL25664AL80A.16FE5□ EPP□	4-4-4-12	N/A	DS	Heat-Sink Package	•	•
4G□2 x 2G□	Crucial	BL25664AR80A.16FE5□ EPP□	4-4-4-12	N/A	DS	Heat-Sink Package	•	•
512MB	HY	HYMP564U64CP8-S5 AB	5	Hynix	SS	HY5PS12821CFP-S5	•	•
1G	HY	HYMP512U64CP8-S5 AB	5	Hynix	DS	HY5PS12821CFPS5	•	•
512MB	Kingmax	KLDC28F-A8K15	N/A	Kingmax	SS	KKA8FF1XF-JFS-25A	•	•
2G	Kingmax	GE24GB800C5DC	N/A	Kingmax	DS	KKA8FF1XF-HFS-25U	•	•
512MB	Apacer	78.91G91.9K5	5	Apacer	SS	AM4B570BJQS8E0751C	•	•
1G	Apacer	78.01GA0.9K5	5	Apacer	SS	AM4B5808CQJS8E0749D	•	•
2G	Apacer	78.A1GA0.9K4	5	Apacer	DS	AM4B5808CQJS8E0740E	•	•
2G	Apacer	78.A1GA0.9K4	5	Apacer	DS	AM4B5808CQJS8E0747D	•	•
1G	Transcend	505649-1993	5	Micon	DS	7HD22D9GMH	•	•
512MB	Transcend	TS64MLQ64V8J512MB	5	Micon	SS	7HD22 D9GMH	•	•
1G	Transcend	503499-7280	N/A	Micon	DS	7NB32 D9DCL	•	•
1G	Transcend	TS128MLQ64V8J	5	Transcend	DS	TQ123PJF8F0801	•	•
1G	Transcend	JM800QLJ-1G	5	Transcend	DS	TQ123YF8 T0747	•	•
512MB	ADATA	M20AD6G3H3160Q1E58	N/A	ADATA	SS	AD29608A8A-25EG80812	•	•
1G	ADATA	M20AD6G314170Q1E58	N/A	ADATA	DS	AD29608A8A-25EG80810	•	•
1G	VDATA	M2GVD6G314170Q1E58	N/A	VDATA	DS	VD29608A8A-25EG80813	•	•
1G	PSC	AL7E8F73C-8E1	5	PSC	SS	A3R1GE3CFF734MAA0E	•	•
2G	PSC	AL8E8F73C-8E1	5	PSC	DS	A3R1GE3CFF734MAA0E	•	•
2G	PSC	PL8E8F73C-8E1	5	PSC	DS	SHG772-AA3G	•	•
2G	PSC	PL8E8G73E-8E1	5	PSC	DS	XCP271-A3G-A	•	•
1G	GEIL	GB22GB6400C4DC	4	GEIL	DS	GL2L64M088BA30EB	•	•
1G	GEIL	GB24GB6400C4QC	4	GEIL	DS	GL2L64M088BA30EB	•	•
1G	GEIL	GB22GB6400C5DC	5	GEIL	DS	GL2L64M088BA30EB	•	•
1G	GEIL	GB24GB6400C5QC	5	GEIL	DS	GL2L64M088BA30EB	•	•
1G	GEIL	GX22GB6400DC	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	GEIL	GE22GB800C4DC	4	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	GEIL	GE24GB800C4QC	4	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	GEIL	GX22GB6400DC	4	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	GEIL	GE22GB800C5DC	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	GEIL	GE24GB800C5QC	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•

(次項へ)

## DDR2 800 MHz (続き)

ベンダー	ベンダー	パーツNo.	CL	チップ ブランド	SS/ DS	チップNO.	メモリスポート	
							A*	B*
2G	GEIL	GB24GB6400C4DC	4	GEIL	DS	GL2L128M88BA25AB	•	•
2G	GEIL	GB24GB6400C5DC	5	GEIL	DS	GL2L128M88BA25AB	•	•
2G	GEIL	GB28GB6400C5QC	5	GEIL	DS	GL2L128M88BA25AB	•	•
2G	GEIL	GB28GB6400C4QC	4	GEIL	DS	GL2L128M88BA25AB	•	•
2G	GEIL	GX22GB6400LX	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GX24GB6400DC	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GE28GB800C5QC	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GE28GB800C4QC	4	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GX22GB6400CUSC	4	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GE24GB800C4DC	4	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GE24GB800C5DC	5	GEIL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	Super Talent	T800UB1GC4	4	Super Talent	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	G.SKILL	F2-6400CL5D-2GBNQ	5	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	G.SKILL	F2-6400CL4D-2GBPK	4	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	G.SKILL	F2-6400CL4D-2GBHK	4	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	G.SKILL	F2-6400CL5D-4GBPQ	5	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	G.SKILL	F2-6400CL4D-4GBPK	4	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package	•	•
512MB	G.SKILL	F2-6400CL5D-1GBNQ	5	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package SN-8151030036642	•	•
4G	G.SKILL	F2-6400CL5Q-16GNQ	5	G.SKILL	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	OCZ	OCZ2RPR8002GK	4	OCZ	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	OCZ	OCZ2G800R22GK	5	OCZ	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	OCZ	OCZ2P800R22GK	4	OCZ	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	OCZ	OCZ2VU8004GK	6	OCZ	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	OCZ	OCZ2P8004GK	5	OCZ	DS	Heat-Sink Package	•	•
2GD2 x 1GD	OCZ	OCZ2SE8002GK	5-5-5-15	N/A	DS	Heat-Sink Package	•	•
2G	OCZ	OCZ2F8004GK	5	N/A	DS	Heat-Sink Package	•	•
1G	Elixir	M2Y1G64TU8HB0B-25C	5	Elixir	DS	N2TU51280BE-25C802006Z1DV	•	•
512MB	AENEON	AET660UD00-25DB98X	N/A	AENEON	SS	AET93F25DB 0621	•	•
1G	AENEON	AET760UD00-25DB97X	5	AENEON	DS	AET93R25DB 0640	•	•
1G	AENEON	AET760UD00-25DC08X	5	AENEON	SS	AET03R250C 0732	•	•
512MB	MDT	MDT 512MB	5	MDT	SS	18D51280D-2.50726F	•	•
512MB	TAKEMS	TMS51B264C081-805EP	5	takeMS	SS	MS18T51280-2.5P0710	•	•
1G	TAKEMS	TMS1GB264C081-805AE	5	takeMS	DS	MS18T51280-25FEA0709A	•	•
1G	TAKEMS	TMS1GB264C081-805EP	5	takeMS	DS	MS18T51280-2.5P0716	•	•
1G	ASINT	SLY2128M8-JGE	N/A	ASINT	SS	DDR11208-GE 8115	•	•
2G	ASINT	SLZ2128M8-JGE	N/A	ASINT	DS	DDR11208-GE 8115	•	•
1G	UMAX	D48001GP3-63BJU	N/A	UMAX	DS	U2S12D30TP-8E	•	•
2G	UMAX	D48002GP0-73BCU	5	UMAX	DS	U2S24D30TP-8E	•	•

## DDR2 1066 MHz

ベンダー	ベンダー	パーツNo.	CL	チップ ブランド	チップNo.	メモリスラ ポート	
						A*	B*
512MB	Kingston	KHX8500D2/512	N/A	Kingston	SS Heat-Sink Package	•	•
512MB	Kingston	KVR1066D2N7/512	N/A	Elpida	SS E5108AJBG-1J-E	•	•
512MB	Kingston	KHX8500D2K2/1GN	N/A	Kingston	SS Heat-Sink Package	•	•
1G	Kingston	KHX8500D2K2/2GN	N/A	Kingston	DS Heat-Sink Package	•	•
1G	Kingston	KVR1066D2N7/1G	N/A	Elpida	DS E5108AJBG-1J-E	•	•
1G	Kingston	KHX8500D2/1G	N/A	Kingston	DS Heat-Sink Package	•	•
1G	Qimonda	HY564T128020EU-19F-C	6	Qimonda	DS HYB18T512800CF19FFSS24313	•	•
1G	Kingmax	KLED48F-A8K15	N/A	Kingmax	DS KKA8FFIXF-JFS-18A	•	•
1G	Corsair	CM2X1024-8500C5	N/A	Corsair	DS Heat-Sink Package	•	•
1G	Corsair	CM2X1024-8500C5D	5-5-5-15	Corsair	SS Heat-Sink Package	•	•
1G	Transcend	TX1066QLJ-2GK1GB	5	Transced	DS Heat-Sink Package	•	•
2GD2 x 1GBQ	Transcend	TX1066QLU-2GK	5	Transced	SS Heat-Sink Package	•	•
2GD2 x 1GBQ	OCZ	OCZ2N1066SR2DK	5-5-5-15	OCZ	DS Heat-Sink PackageDEPPD SN:00482080600160-1	•	•
1G	GEIL	GB24GB8500C5QC	5	GEIL	SS GL2L128M88BA25AB	•	•
1G	GEIL	GE22GB1066C5DC	5	GEIL	SS Heat-Sink Package	•	•
1G	GEIL	GE24GB1066C5QC	5	GEIL	DS Heat-Sink Package	•	•
2G	GEIL	GB24GB8500C5DC	5	GEIL	DS GL2L128M88BA25AB	•	•
2G	GEIL	GE24GB1066C5DC	5	GEIL	DS Heat-Sink Package	•	•
4GD2 x 2GBQ	GEIL	GX24GB8500C5UDC	5	N/A	DS Heat-Sink Package	•	•
2GD2 x 1GBQ	G.SKILL	F2-8500CL5D-2GBPK	5-5-5-15	N/A	DS Heat-Sink Package	•	•
4GD2 x 2GBQ	G.SKILL	F2-8500CL5D-4GBPK	5-5-5-15	N/A	DS Heat-Sink Package	•	•
1G	G.SKILL	F2-8500CL5S-1GBPK	5-5-5-15	G.SKILL	DS Heat-Sink Package	•	•
512MB	Kingbox	EP512D21066PS	N/A	Micron	SS 6QD22D9GCT	•	•
4GD2 x 2GBQ	AENEON	AXT860UD20-19E	N/A	AENEON	DS Heat-Sink Package	•	•
1G	AENEON	AXT760UD00-19DC97X	5	AENEON	DS Heat-Sink Package	•	•
1GD2 x 512MBQ	Crucial	BL12864AA106A.8FE5	5-5-5-15	Crucial	SS Heat-Sink Package	•	•
1GD2 x 512MBQ	Crucial	BL12864AA106A.8FE5 DEPPD	5-5-5-15	Crucial	SS Heat-Sink Package	•	•
1G	Elixir	M2Y1G64TU88D5B-BD	5	Elixir	SS M2TU1G800E-BD	•	•



### SS - シングルサイド / DS - ダブルサイド

#### メモリスポート:

- A\*: シングルチャンネルメモリ構成として、1 枚のモジュールを任意のスロットに取り付けることが可能。
- B\*: 1 組のデュアルチャンネルメモリ構成として、2 枚 1 組のメモリをイエロ一のスロットに取り付けることが可能。



最新のQVLは、ASUSのWebサイト(<http://www.asus.co.jp/>)をご覧ください。

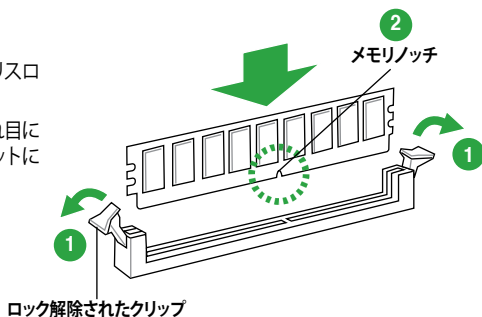
### 1.7.3 メモリを取り付ける



メモリや、その他のシステムコンポーネントを追加、または取り外す前に、コンピュータの電源プラグを抜いてください。プラグを差し込んだまま作業すると、マザーボードとコンポーネントが破損する原因となります。

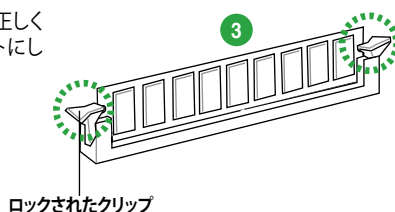
#### 手順

1. クリップを外側に押して、メモリスロットのロックを解除します。
2. メモリのノッチがスロットの切れ目に一致するように、メモリをスロットに合わせます。



メモリは取り付け向きがあります。間違った向きでメモリを無理にスロットに差し込むと、メモリが損傷する原因となります。

3. クリップが所定の場所に戻りメモリが正しく取り付けられるまで、メモリをスロットにしっかり押し込みます。



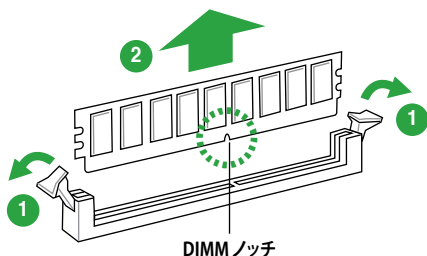
### 1.7.4 メモリを取り外す

#### 手順

1. クリップを外側に同時に押してメモリのロックを解除します。



クリップを押しているとき、指でメモリを軽く引っぺがります。無理な力をかけてメモリを取り外すとメモリが破損する恐れがあります。



2. スロットからメモリを取り外します。

## 1.8 拡張スロット

拡張カードを取り付ける場合は、このページに書かれている拡張スロットに関する説明をお読みください。



拡張カードの追加や取り外しを行う前は、電源コードを抜いてください。電源コードを接続したまま作業をすると、負傷や、マザーボードコンポーネントの損傷の原因となります。

### 1.8.1 拡張カードを取り付ける

#### 手順

1. 拡張カードを取り付ける前に、拡張カードに付属するマニュアルを読み、カードに必要なハードウェアの設定を行ってください。
2. コンピュータのケースを開けます（マザーボードをケースに取り付けている場合）。
3. カードを取り付けるスロットのブラケットを取り外します。ネジは後で使用するので、大切に保管してください。
4. カードの端子部分をスロットに合わせ、カードがスロットに完全に固定されるまでしっかり押します。
5. カードをネジでケースに固定します。
6. ケースを元に戻します。

### 1.8.2 拡張カードを設定する

拡張カードを取り付けた後、ソフトウェアの設定を行い拡張カードを使用できるようにします。

1. システムの電源をオンにし、必要であれば BIOS の設定を変更します。BIOS の設定に関する詳細は、Chapter2 をご参照ください。
2. 必要に応じて、IRQ（割り込み要求）番号の設定をしてください。
3. 拡張カード用のソフトウェアドライバをインストールします。



PCI カードを共有スロットに挿入する際は、ドライバが IRQ の共有をサポートすること、または、カードが IRQ 割り当てを必要としないことを確認してください。IRQ を要求する2つの PCI グループが対立し、システムが不安定になりカードが動作しなくなることがあります。

### 1.8.3 PCI スロット

LANカード、SCSI カード、USB カード等のPCI 規格準拠のカードをサポートしています。

### 1.8.4 PCI Express x1 スロット

本マザーボードはPCI Express 規格準拠のPCI Express x1 ネットワークカード、SCSI カードをサポートしています。

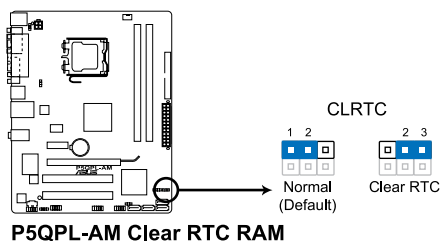
### 1.8.5 PCI Express x16 スロット

本マザーボードはPCI Express規格準拠のPCI Express x16 ビデオカードを取り付けることができます。

## 1.9 ジャンパ

### 1. Clear RTC RAM (3ピン CLRTC)

ジャンパは、CMOSのリアルタイムクロック (RTC) RAMをクリアするものです。CMOS RTC RAMのデータを消去することにより、日、時、およびシステム設定パラメータをクリアできません。システムパスワードなどのシステム情報を含むCMOS RAMデータの維持は、マザーボード上のボタン電池により行われています。



#### RTC RAM をクリアする手順

1. コンピュータの電源をOFFにし電源コードをコンセントから抜きます。
2. ジャンパキャップをピン 1-2 (初期設定) からピン 2-3 に移動させます。5~10秒間そのままにして、再びピン1-2にキャップを戻します。
3. 電源コードを差し込み、コンピュータの電源をONにします。
4. 起動プロセスの間<Del>キーを押し、BIOS設定に入ったらデータを再入力します。



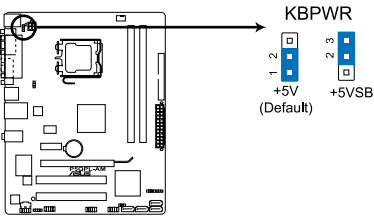
RTC RAM をクリアする場合を除き、CLRTCジャンパのキャップは取り外さないでください。システムの起動エラーの原因となります。



- 上記の手順を踏んでもRTC RAMがクリアできない場合は、マザーボードのボタン電池を取り外し、ジャンパの設定を行ってください。なお、クリアが終了した後は、電池を元に戻してください。
- オーバークロックによりシステムがハングアップした場合は、C.P.R. (CPU Parameter Recall) 機能をご利用いただけます。システムを停止して再起動すると、BIOSは自動的にパラメータ設定を初期設定値にリセットします。
- チップセットの動作上、C.P.R. 機能を有効にするにはAC電源はOFFの状態にする必要があります。システムを再起動する前に、電源を一度OFFにしてからONにするか、電源コードを抜いてから再度接続してください。

## 2. キーボード電源 (3ピン KBPWR)

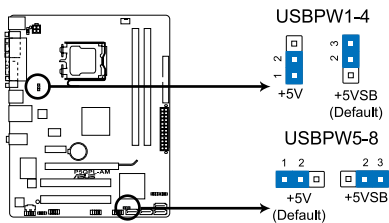
このジャンパにより、キーボードウェークアップ機能を設定できます。ピン2-3 (+5VSB) に設定すると、キーボードの特定のキー (初期設定はスペースキー)、またはUSBデバイスにより、コンピュータをウェークアップすることができます。この機能には+5VSBリード線に最低1A 供給可能な ATX 電源とBIOS設定が必要です。



**P5QPL-AM Keyboard Power Setting**

## 3. USB デバイスウェークアップ (3ピン USBPW1-4, 3ピン USBPW5-8)

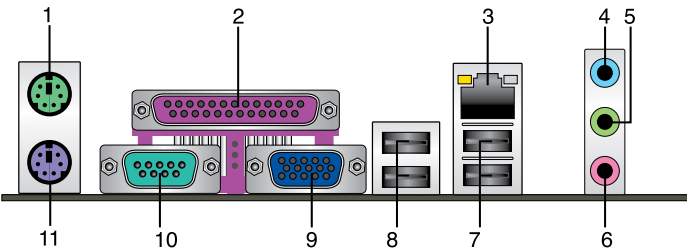
USB デバイスを利用して、S1 スリープモード (CPU 停止、DRAM リフレッシュ、低電力モードでのシステム稼働) からウェークアップするには、+5V に設定します。S3 と S4 スリープモードからウェークアップするには、+5VSB に設定します。



**P5QPL-AM USB Device Wake Up**

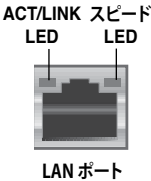
# 1.10     コネクタ

## 1.10.1     バックパネルコネクタ



- 1.    **PS/2 マウスポート (グリーン)** : PS/2 マウス用です。
- 2.    **パラレルポート (25ピン)** : パラレルプリンター、スキャナー、またその他のデバイスに接続します。
- 3.    **LAN (RJ-45) ポート** : ネットワークハブを通して、LANでの Gigabit 接続をサポートします。LANポートとLEDの表示については下の表をご参照ください。

ACT/LINK LED		スピード LED	
状態	説明	状態	説明
オフ	リンクなし	オフ	10 Mbps
オレンジ	リンク確立	オレンジ	100 Mbps
点滅	データ有効	グリーン	1 Gbps



- 4.    **ライン入力ポート (ライトブルー)** : テープ、CD、DVD プレーヤー、またはその他のオーディオソースを接続します。
- 5.    **ライン出力ポート (ライム)** : ヘッドフォンやスピーカーを接続します。4、6チャンネルの出力設定のときは、このポートはフロントスピーカー出力になります。
- 6.    **マイクポート (ピンク)** : マイクを接続します。



2、4、6チャンネル構成時のオーディオポートの機能については、以下のオーディオ構成表を参考にしてください。

オーディオ構成表

ポート	ヘッドセット 2チャンネル	4チャンネル	6チャンネル
ライトブルー	ライン入力	リアスピーカー出力	リアスピーカー出力
ライム	ライン出力	フロントスピーカー 出力	フロントスピーカー 出力
ピンク	マイク入力	マイク入力	バス/センター

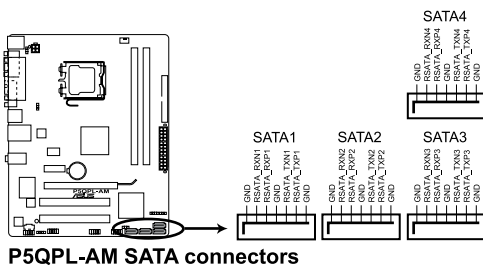


7. **USB 2.0 ポート1と2 (4ピン×2):** USB 2.0デバイスを接続します。
8. **USB 2.0 ポート3と4:** USB 2.0 デバイスを接続します。
9. **Video Graphics Adapter (VGA) ポート (15ピン):** VGA モニター、またはその他のVGAと互換性のあるデバイスを接続します。
10. **COM ポート:** ポインティングデバイス、またはその他のデバイスを接続します。
11. **PS/2 キーボードポート (パープル):** PS/2キーボードを接続します。

## 1.10.2 内部コネクタ

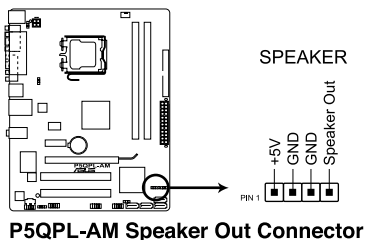
### 1. Serial ATA コネクタ (7ピン SATA1-4)

Serial ATA ハードディスクドライブ用Serial ATA シグナルケーブル用です。



### 2. スピーカーコネクタ (4ピン SPEAKER)

ケース取り付けのビープスピーカー用です。スピーカーはその鳴り方でシステムの不具合を報告し、警告を発します。



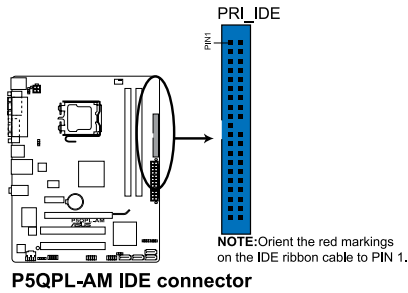
3. IDE コネクタ (40-1 ピン PRI\_IDE)

Ultra DMA 100/66/33 ケーブル用です。各 Ultra DMA100/66/33 ケーブルにはブルー、ブラック、グレーの 3 つのコネクタがあります。マザーボードの IDE コネクタにはブルーを接続し、下からいずれかのモードを選択してください。

	ドライブジャンパ設定	デバイスのモード	ケーブルコネクタ
デバイス 1 台	Cable-Selectまたはマスター	-	ブラック
デバイス 2 台	Cable-Select	マスター	ブラック
		スレーブ	グレー
	マスター	マスター	ブラックまたはグレー
	スレーブ	スレーブ	



- ・ 誤ってケーブルを接続しないようにコネクタのピン 20 は取り外されています。
- ・ Ultra DMA 100/66/33 IDE デバイスの場合は、80 ピンタイプの IDE ケーブルを使用します。



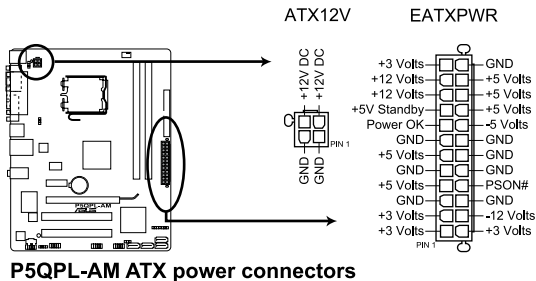
P5QPL-AM IDE connector



あるデバイスジャンパを「Cable-Select」に設定した場合は、他のデバイスジャンパも全て同じ設定にしてください。

#### 4. ATX 電源コネクタ (24ピン EATXPWR、4ピン ATX12V)

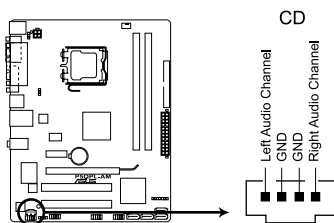
ATX電源プラグ用のコネクタです。電源プラグは正しい向きでのみ、取り付けられるように設計されています。正しい向きでしっかりと挿し込んでください。



- システムの快適なご利用のために、最低 400 W ATX 12 V 仕様 2.0 (またはそれ以降) 対応電源ユニットを使用することをお勧めします。
- 4ピン ATX12V 電源プラグを必ず接続してください。システムが起動しなくなります。
- 大量に電力を消費するデバイスを使用する場合は、高出力の電源ユニットの使用をお勧めします。電源ユニットの能力が不十分だと、システムが不安定になる、システムが起動しなくなる等の問題が発生する場合があります。

#### 5. 光学ドライブ オーディオ コネクタ (4ピン CD)

これらのコネクタは CD-ROM、TVチューナー、またはMPEG カードなどの音響源からのステレオオーディオ入力を受信します。



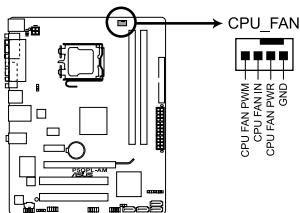
**P5QPL-AM Internal audio connector**

## 6. CPUファンコネクタ (4ピンCPU\_FAN)

ファンコネクタは350 mA~2000 mA (最大24 W)をサポートします。ファンケーブルをマザーボードのファンコネクタに接続してください。各ケーブルの黒いワイヤーがGNDピンに接続されていることを確認してください。



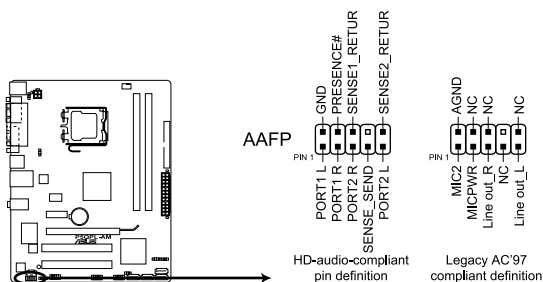
ファンケーブルをファンコネクタに接続することを忘れないでください。システムの空気の流れが十分でないと、マザーボードのパーツが損傷する恐れがあります。ジャンパーではありません! ジャンパーのキャップをファンコネクタの上におかないでください!



P5QPL-AM CPU fan connector

## 7. フロントパネルオーディオコネクタ (10-1 ピン AAFP)

ケースのフロントパネルオーディオI/Oモジュール用コネクタで、HDオーディオ及びAC'97オーディオをサポートしています。オーディオI/Oモジュールケーブルの一方をこのコネクタに接続します。



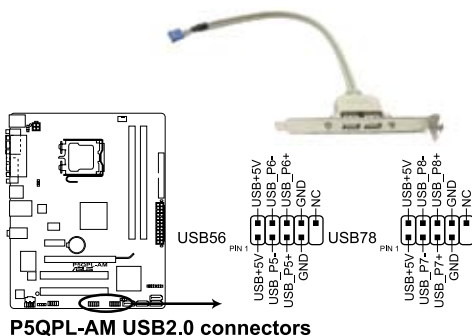
P5QPL-AM Analog front panel connector



- HD オーディオ機能を最大限に活用するため、HD フロントパネルオーディオモジュールを接続することをお勧めします。
- HDフロントパネルオーディオモジュールをこのコネクタに接続する場合は、BIOSの「**Front Panel Type**」項目を [HD Audio] に設定してください。AC'97 フロントパネルオーディオモジュールを接続するには、この項目を [AC97] に設定してください。初期設定では、このコネクタは[HD Audio]に設定されています。詳細につきましては2.4.3チップセットをご参照ください。

## 8. USBコネクタ (10-1 ピン USB56、USB78)

USB 2.0 ポート用のコネクタです。USBモジュールのケーブルをこれらのコネクタに接続します。ブラケットはケース背面に固定します。これらのUSBコネクタは、最大 480 Mbps 転送に対応する USB 2.0 規格に準拠しています。



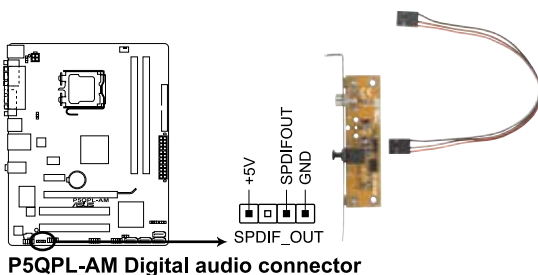
1394 ケーブルをUSBコネクタに接続しないでください。マザーボード故障の原因となります。



USBモジュールケーブルは別売りとなっております。

## 9. デジタルオーディオコネクタ (4-1 ピン SPDIF\_OUT)

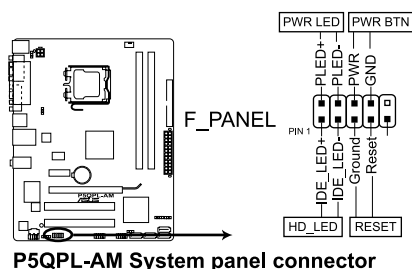
S/PDIFポート追加用のコネクタです。S/PDIF出力モジュールを接続します。



S/PDIFモジュールは別売りとなっております。

## 10. システムパネルコネクタ (10-1 ピン F\_PANEL)

このコネクタはケースに付属する各機能に対応しています。



- **システム電源LED (2ピン PWRLED)**

システム電源LED用です。ケース電源LEDケーブルを接続してください。システムの電源LEDはシステムの電源をオンにすると点灯し、システムがスリープモードに入ると点滅します。

- **HDDアクティビティLED (2ピン HD\_LED)**

HDDActivity LED用です。HDDActivity LEDケーブルを接続してください。IDE LEDは、データがHDDと読み書きを行っているときに点灯するか点滅します。

- **ATX電源ボタン/ソフトオフボタン (2ピン PWRBTN)**

システムの電源ボタン用です。電源ボタンを押すとシステムの電源がオンになります。またBIOSの設定によってはシステムをスリープモードまたはソフトオフモードにすることができます。システムがオンになっているときに電源スイッチを押すと、システムの電源はオフになります。

- **リセットボタン (2ピン RESET)**

ケースに付属のリセットボタン用です。システムの電源をオフにせずにシステムを再起動します。

## 1.11 ソフトウェア

### 1.11.1 OSをインストールする

本マザーボードは、Windows® XP/ Vista™/ Windows7をサポートしています。ハードウェアの機能を最大に活用するため、OSは定期的にアップデートしてください。



- ここで説明するセットアップ手順は一例です。詳細については、OSのマニュアルをご参照ください。
- 互換性とシステムの安定性のために、ドライバをインストールする前に、Windows® XP Service Pack 3、Windows® Vista Service Pack 1、またはそれ以降のバージョンをお使いください。

### 1.11.2 サポートDVD情報

マザーボードに付属のサポートDVDには、マザーボードを利用するために必要なドライバ、アプリケーション、ユーティリティが収録されています。



サポートDVDの内容は、予告なしに変更する場合があります。最新のものは、ASUS Webサイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) でご確認ください。

### サポートDVDを実行するVD

サポートDVDを光学ドライブに入れます。OSの Autorun 機能が有効になっていれば、ドライバメニューが自動的に表示されます。



下の絵は参照用です。実際の画像と異なる場合があります。



アイコンをクリックするとサポートDVDとマザーボードの情報が表示されます。

インストールする項目を選択



Autorun が有効になっていない場合は、サポートDVDの BINフォルダから ASSETUP.EXE を探してください。ASSETUP.EXE をダブルクリックすると、ドライバメニューが表示されます。

[illegible]



# Chapter 2

## BIOS情報

### 2.1 BIOS 管理更新



いつでもBIOSを復旧できるよう、オリジナルのマザーボードBIOSファイルをUSBフラッシュメモリにコピーしておいてください。BIOSのコピーにはASUS Update をご使用ください。

#### 2.1.1 ASUS Update utility

ASUS Update は、Windows® 環境でマザーボードの BIOS を管理、保存、更新するユーティリティです。



- ASUS Update でインターネットを使用した機能を使用するためには、インターネット接続が必要です。
- このユーティリティはマザーボードに付属しているサポートDVD からインストールします。

#### ASUS Update をインストールする

##### 手順

1. サポートDVDを光学ドライブにセットします。Driversメニューが表示されます。
2. メインメニューから**Utilities** タブをクリックし、「**ASUS Update**」をクリックします。
3. スクリーン上の指示に従い、インストールを完了してください。



本ユーティリティでBIOS更新を行う場合は、Windows® アプリケーションを全て閉じてから行ってください。

#### BIOSを更新する

##### 手順

1. Windows® デスクトップから「**スタートメニュー**」→「**プログラム**」→「**ASUS**」→「**ASUSUpdate**」→「**ASUSUpdate**」をクリックします。ASUS Update ユーティリティを起動すると、ASUS Update メインウィンドウが表示されます。
2. ドロップダウンメニューから、更新プロセスを選択します。

### インターネットを通してBIOSを更新する

- a. 「Update BIOS」を選択し、「Next」をクリックします。
- b. 最寄りの ASUS FTP サイトを選択するか、「Auto Select」をクリックし、「Next」をクリックします。
- c. FTP サイトからダウンロードする BIOS バージョンを選択し、「Next」をクリックします。



ASUS Update ユーティリティをインターネットから最新版に更新することができます。すべての機能を利用できるよう、常に最新版をご使用ください。

BIOS ファイルから BIOS を更新する：

- a. ドロップダウンメニューから「Update BIOS from a file」を選択し、「Next」をクリックします。
  - b. Open ダイアログから BIOS ファイルを探し、「Open」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、更新プロセスを完了します。

## 2.1.2 ASUS EZ Flash 2

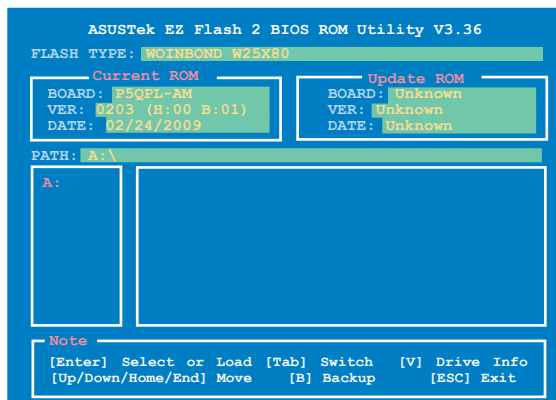
ASUS EZ Flash 2 は起動ディスクや OS ベースのユーティリティを使うことなく、BIOS 更新を行います。



このユーティリティで BIOS 更新を行う前に、ASUS の Web サイト (<http://www.asus.co.jp>) から最新バージョンの BIOS をダウンロードしてください。

EZ Flash 2 を使用して BIOS を更新する：

1. 最新バージョンの BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリをシステムにセットし、以下のいずれかの方法で EZ Flash 2 を起動します。
  - ・ POST 中に <Alt> + <F2> を押し、次のような画面を表示させます。：



- BIOS セットアッププログラムで、Tools メニューに進み EZ Flash2 を選択して <Enter> を押します。  
Tab を押してドライブを切り替え、BIOS ファイルを保存したドライブを指定します。
2. BIOS ファイルが検出されると EZ Flash 2 は BIOS を更新します。更新が終了するとシステムは自動的に再起動します。



- **FAT 32/16** フォーマットの USB フラッシュメモリ、フロッピーディスク等のデバイスのみをサポートします。
- BIOS 更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。

### 2.1.3 ASUS CrashFree BIOS 3

ASUS CrashFree BIOS 3 は BIOS の自動復旧ツールで、BIOS 更新時に障害を起こした場合や破損した BIOS ファイルを復旧します。破損した BIOS ファイルはサポート DVD、または BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリで更新することができます。



- このユーティリティを使用する前に、サポート DVD、または BIOS を保存した USB フラッシュメモリをお手元にご用意ください。
- SATA 接続 DVD ドライブを利用する場合には、SATA1 か SATA 2 コネクタに接続して下さい。接続されていないと、ユーティリティで BIOS ファイルが読み込めません。

#### BIOS を復旧する

##### 手順

1. システムを ON にします。
2. BIOS ファイルを保存した USB フラッシュメモリ、またはサポート DVD をシステムにセットします。
3. BIOS ファイルを保存したデバイスの検出が始まります。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for CD-ROM...
CD-ROM not found!
Checking for USB Device...
```

検出されると、BIOS ファイルを読み込み、破損した BIOS ファイルを更新します。

```
Bad BIOS checksum. Starting BIOS recovery...
Checking for USB Device...
USB Device found.
Reading file "P5QPLAM.ROM". Completed.
Start Erasing...\
```

#### 4. 更新が終了したら、システムを再起動します。



- FAT 32/16 フォーマットのUSBフラッシュメモリと、シングルパーティションのデバイスのみ ASUS CrashFree BIOS 3をサポートします。容量が8GB以下のデバイスをご使用ください。
- BIOS更新中にシステムのシャットダウンやリセットを行わないでください。システム起動エラーの原因となります。



マザーボードサポートDVDに収録のBIOSファイルは最新バージョンではない場合があります。新しいBIOSファイルを使用する場合は、弊社のWeb サイトからファイルをダウンロードし、USBフラッシュメモリにコピーしてください。(http://www.asus.co.jp)

## 2.2 BIOS設定プログラム

本マザーボードはプログラム可能な Serial Peripheral Interface (SPI) チップを搭載しており、「**2.1 BIOS管理更新**」で説明した付属ユーティリティを使用してBIOSの更新をすることが可能です。

BIOS設定プログラムは、マザーボードを取り付けた時や、システムの再構成をした時、または「Run Setup」を促された時に使用します。本項では、この機能を使用してコンピュータの設定をする方法を説明します。

BIOS設定プログラムを使用するように指示されていない場合でも、コンピュータの設定を変更することができます。例えば、セキュリティパスワード機能を有効にする、または、電源管理設定を変更することができます。これらの設定を変更するためには、コンピュータがこれらの変更を認識し、SPIチップのCMOS RAMに記録できるように、BIOS設定プログラムを使用してコンピュータの設定を変更する必要があります。

マザーボードのSPIチップにはBIOS設定プログラムが搭載されています。BIOS設定プログラムはコンピュータを起動するときに実行することができます。起動時の自己診断テスト (POST) の間に<Del>キーを押すとBIOS設定プログラムが起動します。

POSTの後に「**Setup**」に入る場合は、以下の手順でシステムを再起動してください。:

- OS上のスタートメニューから再起動を実行します。
- <Ctrl>キー、<Alt>キー、<Del>キーを同時に押します。
- PCケースのリセットボタンを押します。
- 電源ボタンを押し、システムを再起動します。



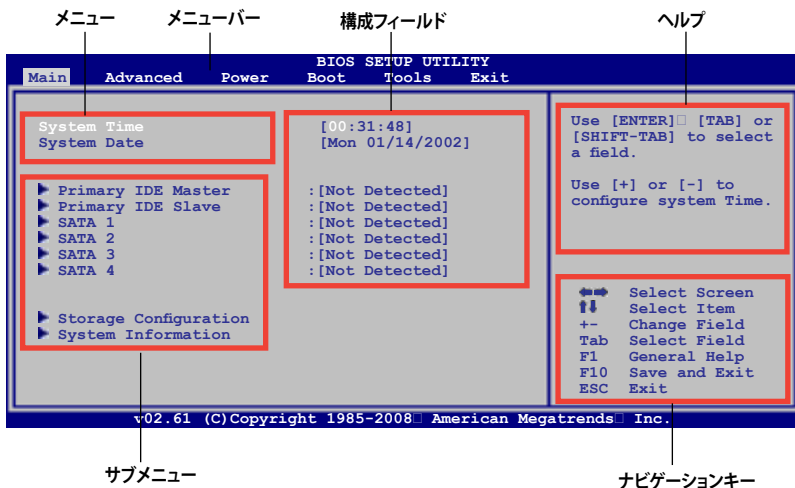
OS起動時あるいは起動中に、電源ボタン/リセットボタンを使用する、または、<Ctrl>キー、<Alt>キー、<Del>キーを同時に押すと、システムまたはデータを損傷する恐れがあります。シャットダウンや再起動を行う場合には、OSのシャットダウン機能を使用することを強くお勧めします。

BIOS設定プログラムは簡単に使用できるように設計されています。メニュー画面から、ナビゲーションキーを使用してさまざまなサブメニューをスクロールする、使用可能なオプションから設定を選択することができます。



- このマザーボードのBIOSの初期設定値はほとんどの環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。BIOS設定を変更した後システムが不安定になったら、初期設定値をロードしてください。初期設定値に戻すには、終了メニューの下の「Load Setup Defaults」を選択します。（詳細は「3.8 終了メニュー」をご参照ください）
- 本書に掲載したBIOSの画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。
- 最新のBIOSはASUS Web サイト ([www.asus.co.jp](http://www.asus.co.jp)) からダウンロードしてください。

## 2.2.1 BIOSメニュー画面



## 2.2.2 メニューバー

スクリーン上部のメニューバーには、次の項目があります。

Main	基本システム設定の変更用
Advanced	拡張システム設定の変更用
Power	拡張電源管理 (APM) 設定の変更用
Boot	システム起動設定の変更用
Tools	独自機能の設定オプション用
Exit	終了オプションと初期設定値のロード用

メニューバーの項目を選択するには、キーボードの右または左の矢印キーを使って、項目をハイライト表示させます。

## 2.2.3 ナビゲーションキー

BIOSメニュー画面の右下には、メニューの操作するためのナビゲーションキーの説明が表示されています。ナビゲーションキーを使用してメニューの項目を選択し、設定を変更します。



掲載したBIOSの画面は一例であり、実際に表示される内容と異なる場合があります。

## 2.2.4 メニュー

メニューバーをハイライト表示すると、そのメニューの設定項目が表示されます。例えば、メインを選択するとメインのメニューが表示されます。メニューバーの他の項目（Advanced、Power、Boot、Exit）には、それぞれのメニューがあります。

## 2.2.5 サブメニュー

サブメニューの項目の前には、黒い三角形が付いています。サブメニューを表示するためには、項目を選択し<Enter>を押します。

## 2.2.6 構成フィールド

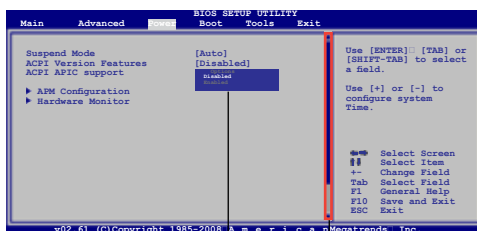
構成フィールドには設定された値が表示されています。設定の変更が可能な項目は、フィールドの値を変更することができます。ユーザーによる変更が不可能でない項目は、選択することができます。各値はカッコで囲まれており、選択するとハイライト表示されます。フィールドの値を変更するには、選択し<Enter>を押してオプションのリストを表示させます。詳細は「2.2.7 ポップアップウィンドウ」をご参照ください。

## 2.2.7 ポップアップウィンドウ

項目を選択し<Enter>を押すと、設定可能なオプションと共にポップアップウィンドウが表示されます。

## 2.2.8 スクロールバー

設定項目が画面に収まりきらない場合は、スクロールバーがメニュー画面の右側に表示されます。上/下矢印キー、または<Page Up>/<Page Down>キーで、スクロールすることができます。



ポップアップウィンドウ

スクロールバー

## 2.2.9 ヘルプ

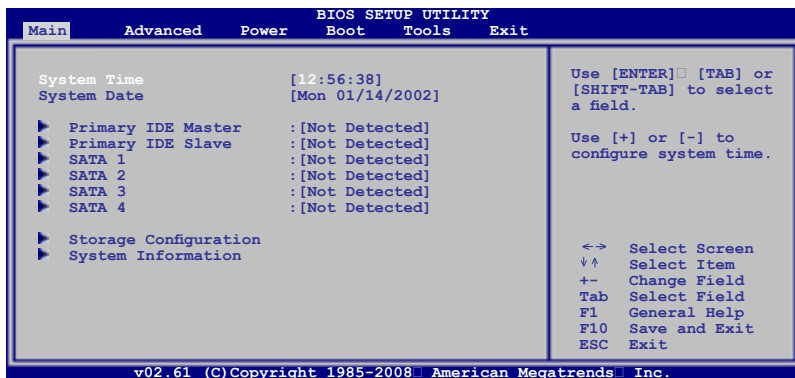
メニュー画面の右上には、選択した項目の簡単な説明が表示されます。

## 2.3 メニューバー

BIOS設定プログラムに入ると、メインメニューが表示され、システム情報の概要が表示されます。



メニュー画面の情報および操作方法については、「2.2.1 BIOSメニュー画面」をご参照ください。



### 2.3.1 System Time [xx:xx:xx]

システム時間を設定します。

### 2.3.2 System Date [Day xx/xx/xxxx]

システム日付を設定します。

### 2.3.3 Primary IDE Master/Slave, SATA1~4

セットアップ中にBIOSは自動的にIDE/SATAデバイスを検出します。各IDE/SATAデバイスにはそれぞれサブメニューがあります。を選択し、<Enter>を押すとIDE/SATA デバイスの情報が表示されます。BIOSは、Device、Vendor、Size、LBA Mode、Block Mode、PIO Mode、Async DMA、Ultra DMA、SMART Monitoring の各値を自動的に検出します。これらの項目の値は変更することはできません。また、システムに IDE/SATA デバイスが接続されていない場合は N/A と表示されます。

#### Type [Auto]

IDEドライブのタイプを選択します。[Auto]に設定すると、適切なIDEAデバイスタイプを自動的に選択します。光学ドライブを接続している場合は[CDROM]を選択します。デバイスがZIP、LS-120、MOドライブのどれかであれば、[ARMD] (ATAPI リムーバブルメディアデバイス)を選択します。設定オプション: [Not Installed] [Auto] [CDROM] [ARMD]



SATA 1/2/3/4 デバイスを選択した場合には、この項目は表示されません。

## **LBA/Large Mode [Auto]**

LBAモードの設定。デバイスがこのモードをサポートしている場合、[Auto]に設定すると、LBA モードが有効になります。デバイスが LBA モードでフォーマットされていない場合は無効になります。  
設定オプション: [Disabled] [Auto]

## **Block (Multi-Sector Transfer) M [Auto]**

マルチセクタ転送の設定。[Auto]に設定すると、デバイスがマルチセクタ転送機能をサポートしていれば、デバイス間のデータ転送をマルチセクタで行います。[Disabled]に設定すると、デバイス間のデータ転送は1セクタごとに行います。  
設定オプション: [Disabled] [Auto]

## **PIO Mode [Auto]**

PIOモードを選択します。  
設定オプション: [Auto] [0] [1] [2] [3] [4]

## **DMA Mode [Auto]**

DMAモードを選択します。  
設定オプション: [Auto]

## **SMART Monitoring [Auto]**

SMARTIによる監視、分析、報告機能を設定します。  
設定オプション: [Auto] [Disabled] [Enabled]

## **32Bit Data Transfer [Enabled]**

32-bit データ転送を設定します。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## **2.3.4 記憶装置の設定**

記憶装置の設定を行います。設定を変更したい項目を選択し <Enter>を押します。

### **ATA/IDE Configuration [Enhanced]**

ATA/IDE を設定します。  
設定オプション: [Disabled] [Compatible] [Enhanced]

*Enhanced Mode Support On [S-ATA]*

Serial ATA, Parallel ATA, またはどちらもネイティブモードとして設定する。

設定オプション: [S-ATA] [S-ATA+P-ATA] [P-ATA].

### **IDE Detect Time Out (Sec) [35]**

TA/ATAPI デバイスの検出用にタイムアウトを設定します。  
設定オプション: [0] [5] [10] [15] [20] [25] [30] [35]



### 2.3.5 システム情報

システム仕様の概要です。BIOSはさまざまな情報を自動的に検出します。

#### BIOS Information

自動検出されたBIOS情報を表示します。

#### Processor

自動検出されたCPUの仕様を表示します。

#### System Memory

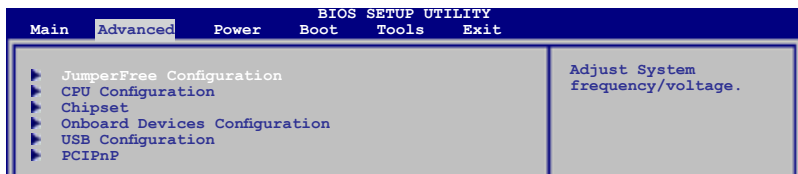
自動検出されたシステムメモリの容量を表示します。

## 2.4 拡張メニュー

CPUとその他のシステムデバイスの設定を変更します。



拡張メニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。十分に注意してください。



### 2.4.1 JumperFree Configuration

システムの周波数電圧を調整します。

#### Ai Overclocking [Auto]

CPUオーバークロックオプションを選択してCPU内部周波数を設定することができます。設定の際は以下のオプションのいずれかを選択します。

**Manual** - オーバークロックの値を設定

**Auto** - システムに対して最適な設定をロード

**Overclock Profile** - オーバークロック時に安定性のため最適なオーバークロックプロファイル設定。



以下の2つの項目は、AI Overclocking項目を **[MANUAL]** に設定した場合にのみ表示されます。

#### CPU Frequency [xxx]

クロックジェネレーターシステムによって、システムバスとPCIバスに送られた周波数を表示します。この項目の値はBIOSによって自動検出されたものです。<+> キーと <-> キーを使ってCPU周波数を調整します。また、数字キーパッドを使って、任意のCPU周波数をタイプすることもできます。設定範囲:200-800 正しいフロントサイドバスと、CPU外部周波数の値については、下のテーブルをご参照ください。

#### FSB / CPU 外部周波数同期

フロントバス	CPU外部周波数
FSB 1333	333 MHz
FSB 1066	266 MHz
FSB 800	200 MHz

#### PCI Express Frequency [Auto]

PCI Express周波数を設定します。設定オプション:[Auto] [90] [91] [92]~[150]



以下の項目は、AI Overclocking項目を **[Overclock ProfileL]** に設定した場合にのみ表示されます。

#### Overclock Options [Overclock 5%]

オーバークロックオプションを選択します。設定オプション:[Overclock 5%] [Overclock 10%] [Overclock 15%] [Overclock 20%] [Test Mode]

## DRAM Frequency [Auto]

DDR2周波数を設定します。

設定オプション: [Auto] [667 MHz] [800 MHz] [1067MHz]



FSB値が1333、1066、800の時に設定可能なDRAM周波数は下の表の通りです。

FSB	DRAM 周波数						
	Auto	667MHz	800MHz	960MHz	1000MHz	1067MHz	1100MHz
1333	v	v	v		v		v
1066	v	v	v			v	
800	v	v	v				



DRAM 周波数を高く設定すると、システムが不安定になる可能性があります。その場合は設定を初期設定に戻してください。

### Memory Voltage [Auto]

メモリの電圧を設定します。＜＋＞、＜－＞キーを使用し電圧を調整します。  
設定オプション: [Auto] [Min = 1.36000V] [Max = 2.44500V]

### NB Voltage [Auto]

ノースブリッジの電圧を設定します。または、[Auto]モードに設定します。  
設定オプション: [Auto] [1.125V] [1.175V] [1.225V] [1.275V]

### SB 1.5V Voltage [1.5V]

サウスブリッジの電圧を設定します。設定オプション: [1.5V] [1.6V]

## 2.4.2 CPUの設定

BIOS が自動的に検出するCPU 関連の情報です。

### CPU Ratio Setting [Auto]

CPUコアクロックとFSB周波数の倍率を設定します。設定オプション: [Auto]



- CMOSに無効な値が設定されている場合は、実際の設定値と異なる場合があります。
- 倍率を直接タイプします。

### C1E Support [Enabled]

C1Eサポート機能を有効にします。設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Max CPUID Value Limit [Disabled]

この項目を[Enabled]にすると、レガシーオペレーションシステムがCPU拡張機能を持つCPUをサポートしていなくてもブート出来るようになります。  
設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Intel(R) Virtualization Tech [Enabled]

Intel® Virtualization Technologyを有効、無効にします。Intel® Virtualization Technology はハードウェアプラットフォームで複数のOSを別々に、かつ同時に動作させることで、1つのシステムを仮想的に複数のシステムとして動作させます。  
設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### CPU TM function [Enabled]

Intel® CPU Thermal Monitor (TM)機能を、設定します。オーバーヒートしたCPUのクロックを抑えることで冷却を図ります。有効に設定した場合は、CPUがオーバーヒートした際に、CPUコア周波数と電圧を減少させます。設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Execute-Disable Bit Capability [Enabled]

No-Execution Page Protection テクノロジーを設定します。[Disabled] に設定するとXD 機能フラグが常にゼロ(0)に戻ります。



以下の項目は、Enhanced Intel® SpeedStep® Technology (EIST) をサポートする Intel® CPUを取り付けた場合にのみ表示されます。

### Intel(R) SpeedStep(TM) Tech [Enabled]

[Enabled]に設定すると、OSでシステム電源設定を調整し、EIST機能を使用できるようになります。EIST機能を使用しない場合は、[Disabled]に設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

## 2.4.3 チップセット

チップセットの設定を変更します。項目を選択し、<Enter>を押すとサブメニューを表示させることができます。

### North Bridge Configuration

#### Memory Remap Feature [Enabled]

PCI デバイスに上書きされたシステムメモリの領域を、トータル物理メモリの上にリマッピングさせます。64ビットOSをインストールする場合に有効にしてください。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

#### Configure DRAM Timing by SPD [Enabled]

SPDでDRAM Timingを設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

#### Initiate Graphic Adapter [PEG/PCI]

プライマリの起動デバイスに使用するグラフィックコントローラーを設定します。

設定オプション: [IGD] [PCI/IGD] [PCI/PEG] [PEG/IGD] [PEG/PCI]

#### IGD Graphics Mode Select [Enabled, 32MB]

IGDグラフィックデバイスで、使用するメモリ量を選択します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled, 32MB] [Enabled, 64MB] [Enabled, 128MB]

#### GTT Graphics Memory Size [No VT mode, 2MB]

この項目はユーザーによる設定ができません。

#### DVMT Memory [256MB]

DVMTメモリを選択します。

設定オプション: [128MB] [256MB] [Maximum DVMT]



[Maximum DVMT]の項目は、DDR2メモリ1GB以上をDIMMソケットに設置した場合にのみ表示されます。

#### Protect Audio Video Path Mode [Lite]

この項目はユーザーによる設定ができません。

## South Bridge Configuration

### Audio Controller [Enabled]

自動コントローラーを設定します。設定オプション: [Enabled] [Disabled]

#### Front Panel Type [HD Audio]

フロントパネルのサポートタイプを選択します。HD自動フロントパネルをご使用の場合は、この項目を[HD Audio]モードに設定します。設定オプション: [AC97] [HD Audio]

## 2.4.4 オンボードデバイス設定構成

### Onboard LAN [Enabled]

オンボードLANコントローラーを設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

#### LAN Option ROM [Disabled]

オンボードLANコントローラーのブートROMを設定します。この項目は、オンボードLANを有効にした場合にのみ表示されます。設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### Serial Port1 Address [3F8/IRQ4]

Serial Port1ベースアドレスを選択します。

設定オプション: [Disabled] [3F8/IRQ4] [2F8/IRQ3] [3E8/IRQ4] [2E8/IRQ3]

### Parallel Port Address [378]

Parallel Port ベースアドレスを選択します。

設定オプション: [Disabled] [378] [278] [3BC]

### Parallel Port Mode [ECP]

Parallel Portモードを選択します。

設定オプション: [Normal] [Bi-Directional] [EPP] [ECP]

#### ECP Mode DMA Channel [DMA3]

**Parallel Port Mode**の項目を[ECP]にした場合にのみ表示されます。この項目はParallel Port ECP DMAを設定します。設定オプション: [DMA0] [DMA1] [DMA3]

#### EPP Version [1.9]

**Parallel Port Mode**の項目を[EPP]に設定した場合にのみ表示されます。この項目はParallel Port EPPバージョンを設定します。設定オプション: [1.7] [1.9]

#### Parallel Port IRQ [IRQ7]

Parallel Port IRQを設定します。設定オプション: [IRQ5] [IRQ7]

## 2.4.5 USB設定

USB関連の機能を変更することができます。項目を選択し <Enter> を押して設定オプションを表示させてください。



「USB Devices Enabled」の項目には自動検出した値が表示されます。USB デバイスが検出されない場合は「None」と表示されます。

### USB Functions [Enabled]

USB機能の設定をします。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### USB 2.0 Controller [Enabled]

USB 2.0コントローラを設定します。

設定オプション: [Enabled] [Disabled]

### Legacy USB Support [Auto]

レガシーUSB デバイスの設定です。[Auto] に設定すると、起動時に USB デバイスを検出します。USB デバイスが検出されると、USBコントローラのレガシーモードが有効になり、検出されないレガシー USB のサポートは無効になります。

設定オプション: [Disabled] [Enabled] [Auto]

### USB 2.0 Controller Mode [HiSpeed]

USB 2.0 コントローラのモードを設定します。HiSpeed (480 Mbps) または FullSpeed (12 Mbps) から選択します。

設定オプション: [FullSpeed] [HiSpeed]



---

下の項目は、USB記憶デバイスを接続した場合にのみ表示されます。

---

## USB Mass Storage Device Configuration

### USB Mass Storage Reset Delay [20 Sec]

BIOSがUSB記憶デバイスの初期化を待つ時間を最大限に設定することができます。

設定オプション: [10 Sec] [20 Sec] [30 Sec] [40 Sec]

### Emulation Type [Auto]

エミュレーションタイプを選択します。

設定オプション: [Auto] [Floppy] [Forced FDD] [Hard Disk] [CDROM]

## 2.4.6 PCI PnP

PCI/PnPデバイスをアドバンス設定に変更します。メニューには、PCI/PnPまたはレガシーISAデバイス用のIRQとDMAチャンネルリソースの設定と、レガシーISAデバイスのメモリサイズブロックの設定があります。



---

PCI PnPメニューの設定変更は、システムの誤動作の原因となることがあります。十分に注意してください。

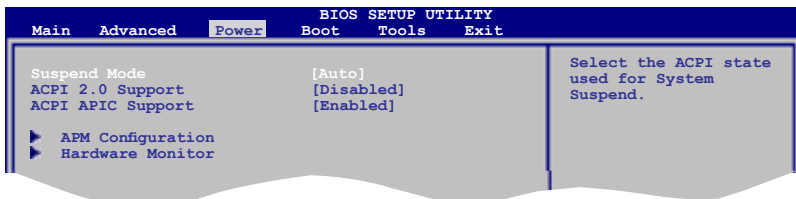
---

## Plug and Play O/S [No]

[No] にすると、システム内の全てのデバイスはBIOSにより構成されます。[Yes] にし、Plug and Play OSをインストールしている場合は、起動に不要な Plug and Play デバイスは全てOSにより構成されます。設定オプション: [No] [Yes]

## 2.5 電源メニュー

ACPI と APM 機能の設定の変更を行います。項目を選択し、<Enter>を押すと設定オプションが表示されます。



### 2.5.1 Suspend Mode [Auto]

システムのサスペンドに使用される、ACPI の状態を選択します。

設定オプション: [S1 (POS) Only] [S3 Only] [Auto]

**[S1(POS) Only]** - システムを ACPI S1 (Power on Suspend) スリープ状態にします。S1スリープ状態では、システムはサスペンド状態で、低電力モードになります。システムのレジュームはいつでも可能です。

**[S3 Only]** - システムをACPI S3 (Suspend to RAM)スリープ状態(初期設定)にします。S3スリープ状態では、システムはオフの状態になり、S1状態よりもさらに消費電力が低い状態になります。ウエイクアップデバイスから信号が出ると、システムはオフになった時と同じ状態にレジュームします。

**[Auto]** - Detected by OS.

### 2.5.2 ACPI 2.0 Support [Disabled]

ACPI v2.0 基準に適合させるために、ACPI テーブルのリストを拡張します。  
specifications. 設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### 2.5.3 ACPI APIC Support [Enabled]

APIC が、ACPI をサポートするかどうかを設定します。[Enabled] に設定すると、ACPI 設定内の RSDT ポインタリストにAPIC テーブルのポインタが追加されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### 2.5.4 APMの設定

#### Restore on AC Power Loss [Power Off]

[Power Off]に設定すると、停電などで電力が遮断された場合に再通電時に電源をオフにします。

また、[Power On]に設定すると、再通電時に電源をオンにします。

[Last State]に設定すると、再通電時に、直前の電源状態に戻ります。

設定オプション: [Power Off] [Power On] [Last State]

#### Power On By PS/2 KB/MS [Disabled]

PS/2キーボードの特定のキーを使用してシステムの電源をオンにします。この機能は、+5V SBリード線で最低 1 A を供給する ATX 電源を必要とします。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### **Resume On Ring [Disabled]**

RIのウエイクイベントの設定をします。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### **Resume On PCI Devices [Disabled]**

[Enabled] に設定すると、PCI LANまたは、モデムカードを使って、スリープ状態からシステムを普及させます。この機能は、+5V SBリード線で最低 1 Aを供給するATX電源を必要とします。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### **Resume On PCIE Devices [Disabled]**

[Enabled] に設定すると、PCI Expressカードを使って、スリープ状態からシステムを普及させます。この機能は、+5V SBリード線で最低 1 Aを供給するATX電源を必要とします。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

### **Resume On RTC Alarm [Disabled]**

RTCのウエイクイベントを設定します。この項目を有効にすると、RTC Alarm Date、RTC Alarm Hour、RTC Alarm Minute、そしてRTC Alarm Secondの設定値と表示されます。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## **2.5.5 ハードウェアモニタ**

### **CPU Temperature [xxx°C/xxx°F]または[Ignored]**

#### **MB Temperature [xxx°C/xxx°F]または[Ignored]**

オンボードハードウェアモニタは、マザーボードとCPUの温度を自動検出し表示します。

温度の表示が必要なければ、「Ignored」を選択します。

#### **CPU Fan Speed [xxxxRPM] または [Ignored]**

オンボードハードウェアモニタは、CPUファンスピードを検出し、RPMで表示します。ファンがマザーボードに接続されていないと、**N/A**と表示されます。スピードの表示が必要なければ、「Ignored」を選択します。

### **CPU Q-Fan Control [Disabled]**

Q-Fan コントロールを設定します。

設定オプション: [Disabled] [Enabled]

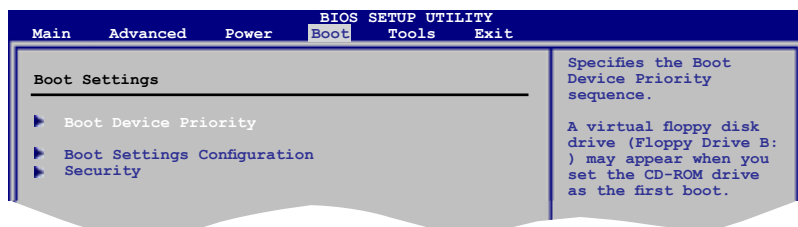
### **VCORE Voltage、3.3V Voltage、5V Voltage、12V Voltage [xxxV] または [Ignored]**

オンボードハードウェアモニタは、オンボード電圧レギュレーターで電圧を自動検出します。



## 2.6 ブートメニュー

システムをブートする際のオプションを変更します。<Enter>を押してサブメニューを表示します。



### 2.6.1 ブートデバイスの優先順位

#### 1st ~ xxth Boot Device

ブートさせるデバイスの優先順位を指定します。画面に表示されるデバイスの数は、ブート可能なデバイスの数です。設定オプション: [Removable Dev.] [Hard Drive] [ATAPI CD-ROM] [Disabled]

### 2.6.2 起動設定

#### Quick Boot [Enabled]

起動中にいくつかの自己診断テスト(POST)をスキップして、システムの起動をスピードアップさせます。[Disabled]に設定しているときは、BIOSはすべてのPOST項目を実行します。設定オプション: [Disabled] [Enabled]

#### Full Screen Logo [Enabled]

フルスクリーンロゴの表示/非表示を切り替えます。設定オプション: [Disabled] [Enabled]



ASUS MyLogo2™ 機能をご利用になる場合は「Full Screen Logo」の項目を [Enabled] に設定してください。

#### AddOn ROM Display Mode [Force BIOS]

オプション ROM に対するディスプレイのモードを設定します。設定オプション: [Force BIOS] [Keep Current]

#### Bootup Num-Lock [On]

電源をオンにしたときの、NumLock の状態を選択します。設定オプション: [Off] [On]

#### Wait For 'F1' If Error [Enabled]

[Enabled]に設定するとシステムはエラー発生時に<F1>キーを押すまで待機します。設定オプション: [Disabled] [Enabled]

#### Hit 'DEL' Message Display [Enabled]

[Enabled]に設定すると、POST中に「Press DEL to run Setup (Delete キーでBIOSメニューを表示)」というメッセージが表示されます。設定オプション: [Disabled] [Enabled]

## 2.6.3 セキュリティ

システムセキュリティ設定の変更。項目を選択し、<Enter>を押すと設定オプションが表示されます。

### Change Supervisor Password

管理者パスワードの設定または変更を行います。画面上部に表示されている「**Supervisor Password**」は、初期設定値は「**Not Installed**」になっています。パスワードを設定すると、「**Installed**」に変更されます。

管理者パスワードの設定手順

1. 「**Change Supervisor Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「**password box**」で、6文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

パスワードの設定が完了すると、「**Password Installed**」というメッセージが表示されます。

管理者パスワードを変更する場合は、設定と同じ手順に従います。

管理者パスワードの消去は、「**Change Supervisor Password**」を選択し、<Enter>を押します。消去すると「**Password Uninstalled**」というメッセージが表示されます。



管理者パスワードを忘れた場合、CMOS リアルタイムクロック(RTC) RAM を消去してパスワードをクリアすることができます。RTC RAM を消去する方法については、「**1.9 ジャンプ**」のページをご参照ください。

管理者パスワードを設定すると、他のセキュリティ設定を変更するための項目が表示されます。

### User Access Level [Full Access]

BIOSメニューへのアクセス制限の選択。

設定オプション: [No Access] [View Only] [Limited] [Full Access]

[No Access]、BIOSメニューへのユーザーのアクセスを拒否します。

[View Only]、アクセスは許可しますが設定の変更はできません。

[Limited]、日時など、限られた設定のみを変更することができます。

[Full Access]、すべての項目を表示、変更することができます。

### Change User Password

ユーザーパスワードの設定または変更をします。画面上部に表示されている「**User Password**」は初期設定値では「**Not Installed**」になっています。パスワードを設定すると、「**Installed**」に変更されます。

ユーザーパスワードの設定手順

1. 「**Change User Password**」を選択し、<Enter>を押します。
2. 「**password box**」で、6文字以上の英数字からなるパスワードを入力し、<Enter>を押します。
3. パスワードの確認を要求されたら、もう一度パスワードを入力します。

パスワードの設定が完了すると、「**Password Installed**」というメッセージが表示されます。ユーザーパスワードを変更する場合は、設定と同じ手順で行います。

## Clear User Password

ユーザーパスワードをクリアします。

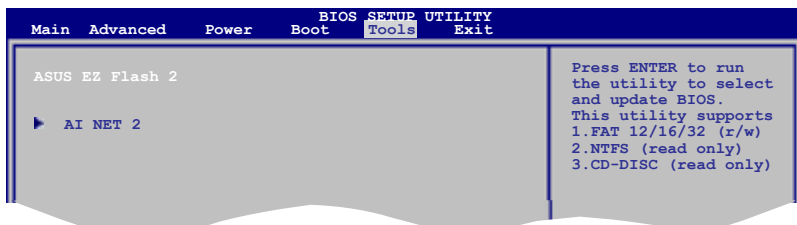
## Password Check [Setup]

この項目を[Setup]に設定すると、BIOSはBIOSメニューへのアクセス時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。[Always]に設定すると、BIOSはBIOSメニューへのアクセス時と、システムの起動時に、ユーザーパスワードの入力を要求します。

設定オプション：[Setup] [Always]

## 2.7 ツールメニュー

スペシャル機能のオプション設定をします。項目を選択し<Enter>を押してサブメニューを表示させます。



### 2.7.1 ASUS EZ Flash 2

ASUS EZ Flash 2を起動します。<Enter>を押すと確認メッセージが表示されます。左右矢印キーを使って [OK] または [Cancel] を選択し <Enter> を押して選択を決定します。詳細はセクション2.1.2をご参照ください。

### 2.7.2 AI NET 2

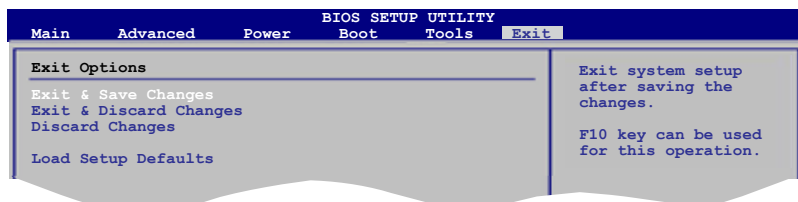
#### Check Atheros LAN cable [Disabled]

有効にすると、POST時にAtheros LANケーブルの障害とショートを報告します。

設定オプション：[Disabled] [Enabled]

## 2.8 終了メニュー

BIOS 設定の保存や取り消しのほか、初期設定値の読み込みを行います。



<Esc> を押してもこのメニューは終了しません。「Exit」メニューからいずれかの項目を選択するか、<F10> を押して終了します。

### Exit & Save Changes

BIOSメニューで行った設定を保存したくないときに、この項目を選択します。ただし、システムの日付、システム時間、パスワード以外の設定を変更した場合は、終了する前に確認のメッセージが表示されます。

### Exit & Discard Changes

BIOSの設定が終了したら、「Exit」メニューからこのオプションを選択し、設定をCMOS RAMに保存して終了します。オンボード用のバックアップで搭載されているバッテリーは、コンピュータの電源がオフになっているときでもBIOSの設定内容を保存します。この項目を選択すると、確認ウィンドウが表示されます。「YES」を選択すると、変更を保存して終了します。

### Discard Changes

BIOSメニューで設定した変更を破棄し、以前保存したときの値を復旧します。このオプションを選択した後は、確認のメッセージが表示されます。確認のメッセージの表示で「YES」を選択すると変更を取り消し、以前保存したときの値がロードされます。

### Load Setup Defaults

セットアップメニューのそれぞれの値に、初期設定値をロードします。このオプションを選択するか、<F5> を押すと確認画面が表示されます。「YES」を選択して初期設定値をロードします。「Exit & Save Changes」を選択するか、他の変更を行ってから設定を保存します。